2021年度
福山市高齢者虐待対応
現任者標準研修

（演習資料集）

公益社団法人 広島県社会福祉士会

ワーク1

事例情報1

＜相談＞
令和３年１月６日９：００、三葉地域包括支援センターに民生委員より電話相談があり、保健師（以下　包括保健師と表記）が対応。高齢者本人は息子と二人暮らしだが、右頬にあざがあることと食事や保清について必要な介護がされていないのではないかと思い相談に至った。

■通報者
民生委員
電話番号　：　△△△―△△△△
相談の経緯：フジと同じアパートの１階に住む徳島さんから相談があり、民生委員が訪問をした。

■民生委員からの情報
①本人の情報
名　前　：瀬戸内　フジ
住　所　：福山市三葉1丁目1-1　ふくやまアパート201号
電　話　：不明
生年月日：不明（８０歳位）
生活歴　：寿司屋を営む夫の手伝いをし、２人の子供を育てた。夫が亡くなってから一人暮らしをしていたが、５年位前から長男と暮らすようになった。
身体状況：きちんとご飯を食べていないようだ。お風呂に入っていないようで身なりが汚れており、臭いがする。歩行時、ふらつきが大きい。物忘れがひどい。
右頬にあざがある。息子に怒鳴られているようだ。
住環境　：ビールの缶やゴミがベランダに山積み。家の中も汚いらしい。
経済状況　：不明。

②養護者の情報
名　前　：瀬戸内　島男
続き柄　：息子（５０代後半位）
状　況　：５年位前よりフジと同居するようになった。夫（息子の父）の店を継いで寿司屋をしていたが２年位前に閉めた、と聞いた。現在働いている様子はない。酒が好きで、昼間からパチンコに行っている。本人の年金で飲んでいるのではないか。

③養護者以外の親族の情報
結婚して嫁いだ娘が県内にいる。

様式２（表）

高齢者相談・通報・届出受付票

演習用シート

相談年月日	令和3年1月6日　9時00分～9時20分	対応者：保健師　所属：三葉地域包括支援センター	
相談者（通報者）	名前	民生委員	受付方法　■電話　□来所　□その他（　　）
	住所または所属機関名	三葉地区民生委員児童委員協議会	電話番号　△△△-△△△△
	本人との関係	□本人　□家族親族（同居・別居）続柄：　□近隣住民・知人　■民生委員 □地域包括支援センター　□ケアマネジャー　□介護保険サービス事業所 □医療機関　□警察　□その他（　　）	

【主訴・相談の概要】

近隣の徳島さんから相談があった。徳島さんによると、きちんとご飯を食べさせてもらっていない。お風呂にも入れてもらっていない。物忘れもひどい。息子に怒鳴られているようだ。
昨日、伺ってみると、身なりはひどいし、右頬にアザがあるし心配になって。これは虐待かもしれないと思って。このままじゃあいけない、包括に言わないとと思って電話した。

【本人の状況】

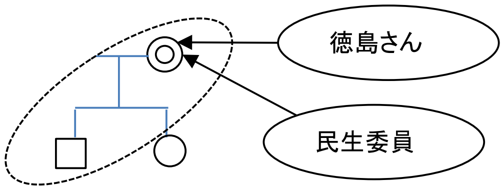
名前	瀬戸内（せとうち）　フジ	性別　女	生年月日　□明治□大正□昭和　年　月　日　年齢　80歳くらい
現住所	福山市三葉1丁目1-1　ふくやまアパート201号	住民票登録住所　□同左　□異	
	電話：	その他連絡先：	（続柄：　）
居　所	■自宅　□病院（　）　□施設（　）　□その他（　）		
介護認定	□非該当　□要支援（　）　□要介護（　）　□申請中（　月　日）　□未申請　□申請予定		
利用サービス	介護保険　□あり（　）　□なし	ケアマネジャー	
	介護保険外　□あり（　）　□なし	居宅介護支援事業所	
主疾患	□一般（　）　□認知症（　）　□精神疾患（　）　□難病（　）		
身体状況	歩行時、ふらつきが大きい。	障害手帳	□無　□有（等級：　種別：　）
経済状況	本人の年金	生活保護受給（□なし　□あり）	

【本人の意向など】※生活歴、キーパーソン、関係機関などわかる範囲で書き込む

寿司屋を営む夫の手伝いをし、２人の子供を育てた。夫が亡くなってから一人暮らしをしていたが、５年位前から長男と暮らすようになった。

【世帯構成】

家族状況（ジェノグラム）



【介護者の状況】

名前	瀬戸内（せとうち）　島男（しまお）	年齢	50歳代後半
続柄	□配偶者　■息子　□娘　□息子の配偶者 □娘の配偶者　□実兄弟　□実姉妹　□義兄弟 □義姉妹　□孫　□その他（　）		
連絡先	■同上		
	電話番号	職業	

その他特記事項

ビールの缶やゴミがベランダに山積み。家の中も汚いらしい。
５年位前より、フジと同居するようになった。働いている様子はない。
酒が好きで、パチンコにもよく行っている。
結婚して嫁いだ娘が県内にいる。

【総合相談としての対応】

ワーク２

□相談終了：□聞き取りのみ　□情報提供・助言　□他機関への取次・斡旋（機関名：　）　□その他（　）
□介護保険申請　□新たな総合事業
□相談継続：□権利擁護対応（虐待対応をのぞく）　□包括的継続的ケアマネジメント支援　□高齢者虐待（裏面記入）　□その他（　）
備考（　）

様式２（裏）

演習用シート
ワーク２

【不適切な状況の具体的内容】※事実確認を行うための根拠とする情報を記入する欄

情報源	相談者（通報・届出者）は　☐実際に目撃した　☐怒鳴り声や泣き声、物音等を聞いて推測した ☐本人から聞いた　☐関係者（　　　　　）から聞いた
相談・訴えの内容	☐家から怒鳴り声や泣き声が聞こえたり、大きな物音がする〔疑い〕 ☐暑い日や寒い日、雨の日なのに高齢者が長時間外にいる〔疑い〕 ☐介護が必要なのに、サービスを利用している様子がない〔疑い〕 ☐高齢者の服が汚れていたり、お風呂に入っている様子がない〔疑い〕 ☐自宅または自室がひどく汚れていたり、とても乱雑である〔疑い〕 ☐あざや傷がある〔疑い〕 ☐問いかけに反応がない、無表情、怯えている〔疑い〕 ☐食事をきちんと食べていない〔疑い〕 ☐年金などお金の管理ができていない〔疑い〕 ☐養護者の態度（　　　　　）
	☐その他（具体的内容を記載）
虐待者	☐配偶者　☐子　☐嫁・婿　☐孫　☐その他の親族（　　　　　）☐施設 ☐その他（　　　　　）
時期	☐数日前から　☐1週間前から　☐1カ月前から　☐数か月前から　☐その他（
虐待の可能性（通報段階）	☐身体的虐待の疑い　☐放棄・放任の疑い　☐心理的虐待の疑い　☐性的虐待の疑い　☐経済的虐待の疑い ☐虐待とは言い切れないが不適切な状況（　　　　　）
相談についての調査協力　☐承諾　☐否	本人・家族への了承　☐有　☐無

【情報収集依頼項目】　依頼日時：　年　月　日　時　分　依頼先：　依頼方法（電話　訪問　その他）

世帯構成	☐住民票	☐その他（　　　　　）		
介護保険	☐介護認定の有無	☐担当居宅介護支援事業所	☐介護保険料所得段階	☐介護保険料収納状況
福祉サービス等	☐生活保護の利用	☐障害者手帳の有無（身・知・精）	☐障害福祉ｻｰﾋﾞｽ利用状況	☐（　　　　　）
経済状況	☐収入状況	☐国民年金	☐遺族年金	☐国民健康保険収納状況
関係機関等	☐主治医・医療機関	☐保健所・保健センターの関与	☐他機関（　　　　　）の関与	
その他	☐（　　　　　）		☐（　　　　　）	

【支所保健福祉担当課・健康推進課・高齢者支援課報告】

報告日時：　年　月　日　時　分　報告方法（電話　来所　その他）

※相談受理後ただちに基礎調査を行い，受付記録を市の担当窓口まで報告・提出すること。

事実確認の方法	面接調査	☐訪問　☐来所　面接者（　　　　,　　　　）
	聞き取り	☐ケース会議等（担当：　　　　）　☐関係機関（　　　　担当：　　　　）
事実確認中に予測されるリスクと対応方法		
事実確認期限	年　月　日　時迄　**※事実確認は原則，相談受理後48時間以内とする。**	
立入調査の必要性	☐不要　☐要検討（理由：　　　　）	

福山市高齢者支援課　作成（出典：社団法人日本社会福祉士会作様式を参考に作成）

様式５（表）	事実確認票ーチェックシート	追加情報

確認者：保健師　　　確認日時：2021年(令和3年) 1月 6日 9時 ～ 1月 6日 9時20分

高齢者本人名前	瀬戸内　フジ	性別	□男 ■女	生年月日	年　月　日生	年齢 80歳くらい
確認場所	□居宅　□来所（□行政　□地域包括支援センター）　■その他（　電話　）					
確認時の同席者の有無	■無　□有（名前：　　　）					

発言内容や状態・行動・態度など（見聞きしたことをそのまま記入）

【本人】

（徳島さんによると）
ご飯を食べていないのではないか、食事を食べさせてもらっていないのではないか。物忘れもひどい。息子に怒鳴られているみたい。身なりがひどく、臭いがひどい。右頬にアザがあった。昼間は本人が一人で過ごしているみたい。

（民生委員によると）
８０歳くらい。食事や入浴について尋ねると「大丈夫」と話した。経済状況は不明。

【養護者】

（民生委員によると）
５０歳代後半くらい。本人とは５年位前から一緒に暮らしている。２年位前まで寿司屋をしていた。

（徳島さんによると）
働かないで昼間からパチンコをしているらしい。本人の年金でお酒を購入し、飲酒をしているのではないか。

【第三者】：（　娘が県内にいる　）

（民生委員によると）
娘が県内に住んでいるらしい。

階下に住む徳島さんが本人と昔から行き来がある知人。
民生委員が訪問をしている。

虐待の全体的状況

右頬にあざがある。
食事を食べていないのではないか、入浴ができていないのではないか。身なりや臭いがひどい。
同居の息子が本人の年金を使って飲酒をしているらしい。

発生状況

1．虐待がはじまったと思われる時期：　　年　　月頃　（不明）

2．虐待が発生する頻度：（不明）

3．虐待が発生するきっかけ：（不明）

4．虐待が発生しやすい時間帯：（不明）

※裏面の事実確認項目（サイン）を利用して事実確認を行う。

様式５（裏）

事実確認項目（サイン）

演習用シート　ワーク３

※1：「通」：通報があった内容に○をつける。「確認日」：行政および地域包括支援センター職員が確認した日付を記入。
※2：太字の項目が確認された場合は、『緊急保護の検討』が必要。ただちに高齢者支援課に報告すること。

	通	確認日	確認項目	サイン：当てはまるものがあれば○で囲み、他に気になる点があれば（　）に簡単に記入	確認方法
身体の状態・けが等			**外傷等**	**頭部外傷（血腫、骨折等の疑い）、腹部外傷、重度の褥そう**、その他（　　　） 部位：　　　大きさ：	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			全身状態・意識レベル	**全身衰弱、意識混濁**、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			脱水症状	**重い脱水症状、脱水症状の繰り返し**、軽い脱水症状、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			栄養状態等	**栄養失調**、低栄養・低血糖の疑い、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			あざや傷	身体に複数のあざ、頻繁なあざ、やけど、刺し傷、打撲痕・腫張、床ずれ、その他（　　　） 部位：　　　大きさ：　　　色：	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			体重の増減	急な体重の減少、やせすぎ、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			出血や傷の有無	生殖器等の傷、出血、かゆみの訴え、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			その他		1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
生活の状況			衣服・寝具の清潔さ	着の身着のまま、濡れたままの下着、汚れたままのシーツ、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			身体の清潔さ	身体の異臭、汚れのひどい髪、皮膚の潰瘍、のび放題の爪、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			適切な食事	菓子パンのみの食事、余所ではガツガツ食べる、拒食や過食が見られる、 その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			適切な睡眠	不眠の訴え、不規則な睡眠、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			行為の制限	自由に外出できない、自由に家族以外の人と話すことができない、 長時間家の外に出されている、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			不自然な状況	資産と日常生活の大きな落差、食べる物にも困っている、 年金通帳・預貯金通帳がない、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			住環境の適切さ	異臭がする、極度に乱雑、ベタベタした感じ、暖房の欠如、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			その他		1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
話の内容			**恐怖や不安の訴え**	**「怖い」「痛い」「怒られる」「殴られる」などの発言、その他（　　　）**	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			保護の訴え	**「殺される」「○○が怖い」「何も食べていない」「家にいたくない」「帰りたくない」 などの発言、その他（　　　）**	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			強い自殺念慮	**「死にたい」などの発言、自分を否定的に話す、その他（　　　）**	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			あざや傷の説明	つじつまが合わない、求めても説明しない、隠そうとする、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			金銭の訴え	「お金をとられた」「年金が入ってこない」「貯金がなくなった」などの発言、 その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			性的事柄の訴え	「生殖器の写真を撮られた」などの発言、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			話のためらい	関係者に話すことをためらう、話す内容が変化、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			その他		1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
表情・態度			おびえ、不安	おびえた表情、急に不安がる、怖がる、人目を避けたがる、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			無気力さ	無気力な表情、問いかけに無反応、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			態度の変化	家族のいる場面いない場面で態度が異なる、なげやりな態度、急な態度の変化、 その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			その他		1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
適切な支援			適切な医療の受診	家族が受診を拒否、受診を勧めても行った気配がない、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			適切な服薬の管理	本人が処方されていない薬を服用、処方された薬を適切に服薬できていない、 その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			入退院の状況	入退院の繰り返し、救急搬送の繰り返し、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			適切な介護等ｻｰﾋﾞｽ	必要であるが未利用、勧めても無視あるいは拒否、必要量が極端に不足、 その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			支援のためらい・拒否	援助を受けたがらない、新たなサービスは拒否、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			費用負担	サービス利用負担が突然払えなくなる、サービス利用をためらう、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			その他		1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
養護者の態度等			**支援者への発言**	**「何をするかわからない」「殺してしまうかもしれない」等の訴えがある、 その他（　　　）**	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			保護の訴え	**虐待者が高齢者の保護を求めている、その他（　　　）**	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			暴力、脅し等	**刃物、ビンなど凶器を使った暴力や脅しがある、その他（　　　）**	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			高齢者に対する態度	冷淡、横柄、無関心、支配的、攻撃的、拒否的、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			高齢者への発言	「早く死んでしまえ」など否定的な発言、コミュニケーションをとろうとしない、 その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			支援者に対する態度	援助の専門家と会うのを避ける、話したがらない、拒否的、専門家に責任転嫁、 その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			精神状態・判断能力	虐待者の精神的不安定・判断力低下、非現実的な認識、その他（　　　）	1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）
			その他		1.写真 2.目視（　）3.記録（　） 4.聴き取り（　）5.その他（　）

福山市高齢者支援課　作成（出典：社団法人日本社会福祉士会 作成様式を参考に作成）

参考１（表）

参考資料

アセスメント要約票

対応計画 　1　回目用

アセスメント要約日：　令和 3年　1月　6日　9:00　　　要約担当者：保健師

高齢者本人氏名：瀬戸内　フジ	性別・年齢：☐男　■女　80歳くらい	居所：　■自宅　☐入所・院	
養護者氏名：瀬戸内　島男	性別・年齢：■男　☐女　50歳代後半	高齢者本人との関係：息子	同別居の状況：■同居　☐別居

高齢者本人の希望

居所の希望：☐在宅　☐入所　■不明　／　分離希望：☐有　☐無　■不明

確認できていない。

意思疎通：☐可能　☐特定条件のもとであれば可能（　　　）☐困難　■不明
話の内容：☐一貫している　☐変化する　■不明
生活意欲：☐意欲や気力が低下しているおそれ（無気力、無反応、おびえ、話をためらう、人目を避ける、等）　■不明

Ⅰ．高齢者本人の情報　面接担当者氏名：

虐待解消に向けた対応課題

【健康状態等】

疾病・傷病　：　　既往歴：

受診状況：　　服薬状況（種類）：

受診状況：　　服薬状況（種類）：

診断の必要性：☐内科　☐精神科　☐外科　☐整形外科　☐その他（　　　）■不明
具体的症状等⇒

要介護認定　：☐非該当　☐要支援（　）☐要介護（　）☐申請中（申請日：　年　月　日）☐未申請　■不明

障害　：☐身体障害　☐精神障害（☐あり　☐疑い）☐知的障害（☐あり　☐疑い）■不明

精神状態　：■認知症（☐診断あり　■疑い）☐うつ病（☐診断あり　☐疑い）☐その他（　　　）

■課題

【危機への対処】

危機対処場面において：☐自ら助けを求めることができる　☐助けを求めることが困難　■不明

避難先・退避先　：☐助けを求める場所がある（　　　）☐ない　■不明

■課題

【成年後見制度の利用】

成年後見人等：☐あり（後見人等：　　　）☐申立中（申立人：　　　）☐申立予定あり　☐申立予定なし　■不明

■課題

【各種制度利用】

☐介護保険　☐自立支援法　☐その他（　　　）■不明

■課題

【経済情報】

収入額　月＿＿万円（内訳：　　）　預貯金等＿＿万円　借金＿＿万円　■不明

１ヶ月に本人が使える金額　＿＿万円
具体的な状況（生活費や借金等）：

確認できていない。

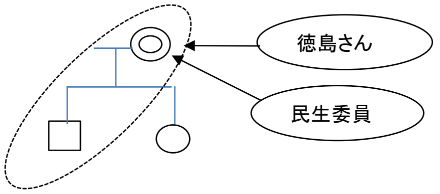
☐生活保護受給　☐介護保険料滞納　☐国民健康保険料滞納　☐その他（　　　）■不明

金銭管理　：☐自立　☐一部介助（判断可）☐全介助（判断不可）■不明

金銭管理者：☐本人　☐成年後見人等　☐日常生活自立支援事業利用　☐その他（　　　）■不明

■課題

【エコマップ】



【生活状況】

食　　事（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助　■不明）
調　　理（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助　■不明）
移　　動（■一人で可　☐一部介助　☐全介助　☐不明）
買　　物（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助　■不明）
掃除洗濯（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助　■不明）
入　　浴（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助　■不明、入浴ができていないかもしれない）
服薬管理（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助　■不明）
預貯金年金の管理（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助　■不明）
医療機関の受診　（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助　■不明）

■課題

【性格上の傾向、こだわり、対人関係等】

民生委員、徳島さんの訪問がある。頻度は不明。

【その他特記事項】

■課題

社団法人日本社会福祉士会 作成（出典：東京都老人総合研究所作成様式を参考に作成）

参考１（裏）

参考資料

Ⅱ．養護者の情報　面接担当者氏名：	虐待解消に向けた対応課題
【養護者の希望】 確認できていない。	■課題
【健康状態等】 疾病・傷病：　既往歴： 受診状況：　服薬状況（種類）： 受診状況：　服薬状況（種類）： 診断の必要性：　□内科　□精神科　□外科　□整形外科　□その他（　）　■不明 具体的症状等⇒ 性格的な偏り： 障害　：　□身体障害　□精神障害（□あり　□疑い）　□知的障害（□あり　□疑い）　■不明	■課題
【介護負担】 被虐待高齢者に対する介護意欲：　□あり　□なし　■不明　介護技術・知識：　□高い　□低い　■不明 １日の介護時間：□ほぼ１日中　□必要時のみ　■不明　介護の代替者　：　□あり　□なし　■不明 介護期間（いつから始まったか、負担が大きくなった時期やきっかけ、最近の生活行動の変化など）※期間と負担原因を明確に 平均睡眠時間：およそ＿＿＿時間	■課題
【就労状況】 就労状況：□就労（就労曜日＿＿～＿＿　就労時間＿＿時～＿＿時）、雇用形態（□正規、□非正規）　■非就労（徳島さんによると昼間からパチンコ）　□福祉的就労　□不明	■課題
【経済状況】 収入額　月＿＿＿万円（内訳：　）　預貯金等＿＿＿万円　借金＿＿＿万円 ■被虐待高齢者の年金に生活費を依存（徳島さんによると、本人の年金で飲んでいるのではないか）□借金トラブルがある□ギャンブルによるトラブルがある　□不明 □生活保護受給　□介護保険料滞納　□国民健康保険料滞納　□その他（　）　■不明	■課題
【近隣との関係】 □良好（　）　□挨拶程度　□悪い　□関わりなし　■不明	■課題
Ⅲ．家族関係（家族歴、家族の抱える問題、家族の中の意思決定者、問題が起こったときの対処方法、地域や近隣との関係、等）	
※高齢者虐待対応ケース会議記録･計画書(1) E票 の｢支援機関･関連機関等連携マップ｣で集約する 本人と息子の二人暮らし。 徳島さんによると、本人の身なりがひどく、右頬にアザが確認できた。食事を食べさせてもらっていないようで、風呂にも入れてもらっていないと思う。物忘れもひどい。 息子に怒鳴られているみたい。 民生委員によると、息子は5年位前に離婚をしてから本人と一緒に住み始めて、一緒に寿司屋をしていたが2年前に店を閉めた。県内に娘がいるらしい。 徳島さんによると、働かないで昼間からパチンコをしている。ビールの空き缶やゴミがベランダに山積みになっており、家が汚い。本人の年金で飲酒をしているのではないか。	■課題
Ⅳ．その他（関係者、関係機関の関わり等）	
※高齢者虐待対応ケース会議記録･計画書(1) E票 の｢支援機関･関連機関等連携マップ｣で集約する 頻度は不明だが、民生委員と同じアパートに住む徳島さんが訪問をする。	■課題

〔全体のまとめ〕：Ⅰ～Ⅳで抽出された課題の結果を踏まえて整理する。
※計画書(1) E票 の｢総合的な支援の方針｣、計画書(2) E票 の｢対応困難な課題／今後検討しなければいけない事項｣に反映する

本人、養護者、娘様それぞれについての情報が十分に得られていない。

社団法人日本社会福祉士会 作成（出典：東京都老人総合研究所作成様式を参考に作成）

＜市との協議＞
　通報を受けた包括保健師は、センター内の社会福祉士（以下　包括社会福祉士）、主任介護支援専門員（以下　包括主任介護支援専門員）と協議し、「虐待の疑いがある」と判断。
　令和３年１月６日１０：００、健康推進課の保健師（以下　市保健師と表記）に、電話で虐待対応をする必要があるケースが発生したことを伝え、内容を共有し、情報収集項目を確認した。
　また、事実確認のため、包括社会福祉士と包括保健師が、民生委員とともに高齢者本人（以下フジと表記）宅を訪問することとし、同日１６：３０、コアメンバー会議を健康推進課会議室で開催することに決定した。

＜事実確認＞
■自宅訪問
　１月６日１３：００、民生委員と包括社会福祉士、保健師でフジ宅訪問。「地域の高齢者さんをまわっています。」と挨拶すると、3名での訪問に少し硬い表情を見せる。
　戸を半分開け、玄関先での面接となる。家の奥の様子は不明だが、玄関とつながる台所は物に溢れ、ビールの空き缶があちこちに転がり、空の弁当ケースなどのゴミがそのまま放置してある様子などが見え、異臭がしていた。フジはやせ気味で唇が渇いている。爪は黒ずみ伸びており、髪もべったりとしている。衣類は汚れており、尿臭が漂う。右頬骨あたりに５センチくらいの赤黒い斑点状の内出血の跡がある。年齢を確認すると、「えーと、いくつになるかいね・・・」と出てこない。誰と住んでいるか聞くと、「息子」と言い、今在宅か聞くと、「今、ここにはおらんみたい。どこか出かけとるんじゃろう」と答える。
　食事は「もう食べた」と言い、困っていることを聞くと「無い」と言う。外出する機会があるかきくと、「ここが一番ええ。行ったことがないところにいくのは嫌。島男もようしてくれる。」と答える。右頬のアザはどうされたのか聞いてみると「私がつまらんけぇ、島男に毎日怒られるし、よう叩かれる。」と答える。いつ叩かれたのかきくと覚えていないと答えた。水分摂取を促し、また顔を見に来ますと伝えて訪問終了。

■知人徳島さんからの情報
　１３：３０、フジと同じアパートの階下に住む徳島さんを訪問。
「しっかり者だったのに、急にこの半年くらいでボケてきた。旦那さんが亡くなった後、島男ちゃんと寿司屋をやっていたけど２年位前にやめた。フジさんと島男ちゃんは５年位前から一緒に住むようになった。島男ちゃんが離婚したあとからね。一人暮らしの時にはヘルパーさんも来ていたみたいだけどね」
「島男ちゃんは昔からお酒が好きみたいなんじゃけど、陽気なお酒を飲む人だった。店がつぶれてからおかしくなった。毎日パチンコに行きよるし、最近は毎晩、９時から１１時くらいに怒鳴り声や大きな音がして心配。ええかげんにせえや！とか、怒鳴っとると思う。でも全部はよく聞こえん・・・」
「元々仲の良い親子よ。でも娘の広子（以下　広子と表記）ちゃんは、なんでか知らんけど結婚して寄り付かんようになったみたいね。」
「フジさんは、最近少しずつ痩せてきよる気がする。時々おかずを持って行ってあげるんよ。固い物は食べにくいみたいじゃけぇ、柔らかい煮物とか。いつも玄関先で渡して帰るんよ。アンパンが好きみたい。でもアンパンだけじゃあ、栄養足らんでしょう？」
「ゴミや服が散らかって、足の踏み場がないんよ。フジさんは歩くときヨロヨロして心配だし」
「頬のアザは、おととい顔を出したときはなかった。昨日できたんじゃろうね。どうしたか本人にきいてもわからんといいよった」

■主治医
　令和３年１月６日１５：００、市保健師が、以前介護保険の主治医の意見書を書いた毛利医院に電話連絡。電話で聞き取りを行う。
「介護保険の書類を書いた頃は、まだひとりで時々来ていた。高血圧と高脂血症の薬を出していたが、ここ１年以上はまったく来ていない。」

＜コアメンバー会議＞
　１６：３０～１７：３０、健康推進課会議室にてコアメンバー会議開催。
出席者は、健康推進課　課長、主幹、保健師、地域包括支援センター　社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員の計６名。

様式５（表）

事実確認票ーチェックシート

演習用シート
ワーク４

確認者：保健師、社会福祉士　　確認日時：2021年(令和3年)　1月　6日　13時　～　1月　6日　16時30分

高齢者本人名前	瀬戸内　フジ	性別	□男 ■女	生年月日	昭和12年1月1日生	年齢 80 歳
確認場所	■居宅　□来所（□行政　□地域包括支援センター）　□その他（　　　）					
確認時の同席者の有無	□無　■有（名前：　民生委員　　）					

ワーク４

発言内容や状態・行動・態度など（見聞きしたことをそのまま記入）

【本人】
（徳島さんによると）
ご飯を食べていないのではないか、食事を食べさせてもらっていないのではないか。物忘れもひどい。息子に怒鳴られているみたい。身なりがひどく、臭いがひどい。右頬にアザがあった。昼間は本人が一人で過ごしているみたい。
（民生委員によると）
８０歳くらい。食事や入浴について尋ねると「大丈夫」と話した。経済状況は不明。

【養護者】
（民生委員によると）
５０歳代後半くらい。本人とは５年位前から一緒に暮らしている。２年位前まで寿司屋をしていた。
（徳島さんによると）
働かないで昼間からパチンコをしているらしい。本人の年金でお酒を購入し、飲酒をしているのではないか。

【第三者】：（　娘が県内にいる　　）
（民生委員によると）
娘が県内に住んでいるらしい。
階下に住む徳島さんが本人と昔から行き来がある知人。
民生委員が訪問をしている。

虐待の全体的状況

右頬にあざがある。
食事を食べていないのではないか、入浴ができていないのではないか。身なりや臭いがひどい。
同居の息子が本人の年金を使って飲酒をしているらしい。

発生状況

１．虐待がはじまったと思われる時期：　　　年　　　月頃

２．虐待が発生する頻度：

３．虐待が発生するきっかけ：

４．虐待が発生しやすい時間帯：

※裏面の事実確認項目（サイン）を利用して事実確認を行う。

様式５（裏）

事実確認項目（サイン）

演習用シート ワーク４

※1:「通」:通報があった内容に〇をつける。「確認日」:行政および地域包括支援センター職員が確認した日付を記入。

※2:太字の項目が確認された場合は、『緊急保護の検討』が必要。ただちに高齢者支援課に報告すること。

	通	確認日	確認項目	サイン:当てはまるものがあれば〇で囲み、他に気になる点があれば（ ）に簡単に記入	確認方法
身体の状態・けが等			**外傷等**	**頭部外傷（血腫、骨折等の疑い）**、**腹部外傷**、**重度の褥そう**、その他（ ） 部位: 大きさ:	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			全身状態・意識レベル	**全身衰弱**、**意識混濁**、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			脱水症状	**重い脱水症状**、**脱水症状の繰り返し**、軽い脱水症状、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			栄養状態等	**栄養失調**、低栄養・低血糖の疑い、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
	〇	1月6日	あざや傷	身体に複数のあざ、頻繁なあざ、やけど、刺し傷、打撲痕・腫張、床ずれ、その他（1ヶ所のあざ ） 部位:右頬 大きさ: 色:	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（民生委員） 5.その他（）
			体重の増減	急な体重の減少、やせすぎ、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			出血や傷の有無	生殖器等の傷、出血、かゆみの訴え、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			その他		1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
生活の状況	〇	1月6日	衣服・寝具の清潔さ	着の身着のまま、濡れたままの下着、汚れたままのシーツ、その他（ 身なりがひどい	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（民生委員） 5.その他（）
	〇	1月6日	身体の清潔さ	身体の異臭、汚れのひどい髪、皮膚の潰瘍、のび放題の爪、その他（ 入浴ができていないと思う ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（民生委員） 5.その他
	〇	1月6日	適切な食事	菓子パンのみの食事、余所ではガツガツ食べる、拒食や過食が見られる、 その他（食事を食べさせてもらっていないと思われる）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（民が徳島さんより） 5.その他
			適切な睡眠	不眠の訴え、不規則な睡眠、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			行為の制限	自由に外出できない、自由に家族以外の人と話すことができない、 長時間家の外に出されている、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			不自然な状況	資産と日常生活の大きな落差、食べる物にも困っている、 年金通帳・預貯金通帳がない、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
	〇	1月6日	住環境の適切さ	異臭がする、極度に乱雑、ベタベタした感じ、暖房の欠如、その他（ビールの空き缶やゴミがベランダに山積み）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（民が徳島さんより） 5.その他
			その他		1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
話の内容			**恐怖や不安の訴え**	**「怖い」「痛い」「怒られる」「殴られる」などの発言**、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			保護の訴え	**「殺される」「〇〇が怖い」「何も食べていない」「家にいたくない」「帰りたくない」などの発言**、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			強い自殺念慮	**「死にたい」などの発言**、**自分を否定的に話す**、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			あざや傷の説明	つじつまが合わない、求めても説明しない、隠そうとする、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			金銭の訴え	「お金をとられた」「年金が入ってこない」「貯金がなくなった」などの発言、 その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			性的事柄の訴え	「生殖器の写真を撮られた」などの発言、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			話のためらい	関係者に話すことをためらう、話す内容が変化、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
	〇	1月6日	その他	物忘れがひどい	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（民が徳島さんより） 5.その他
表情・態度			おびえ、不安	おびえた表情、急に不安がる、怖がる、人目を避けたがる、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			無気力さ	無気力な表情、問いかけに無反応、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			態度の変化	家族のいる場面いない場面で態度が異なる、なげやりな態度、急な態度の変化、 その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			その他		1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
適切な支援			適切な医療の受診	家族が受診を拒否、受診を勧めても行った気配がない、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			適切な服薬の管理	本人が処方されていない薬を服用、処方された薬を適切に服薬できていない、 その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			入退院の状況	入退院の繰り返し、救急搬送の繰り返し、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			適切な介護等ｻｰﾋﾞｽ	必要であるが未利用、勧めても無視あるいは拒否、必要量が極端に不足、 その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			支援のためらい・拒否	援助を受けたがらない、新たなサービスは拒否、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			費用負担	サービス利用負担が突然払えなくなる、サービス利用をためらう、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			その他		1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
養護者の態度等			**支援者への発言**	**「何をするかわからない」「殺してしまうかもしれない」等の訴えがある**、 **その他（ ）**	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			保護の訴え	**虐待者が高齢者の保護を求めている**、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			暴力、脅し等	**刃物、ビンなど凶器を使った暴力や脅しがある**、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			高齢者に対する態度	冷淡、横柄、無関心、支配的、攻撃的、拒否的、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
	〇	1月6日	高齢者への発言	「早く死んでしまえ」など否定的な発言、コミュニケーションをとろうとしない、 その他（ 怒鳴り声がする ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（民が徳島さんより） 5.その他
			支援者に対する態度	援助の専門家と会うのを避ける、話したがらない、拒否的、専門家に責任転嫁、 その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
			精神状態・判断能力	虐待者の精神的不安定・判断力低下、非現実的な認識、その他（ ）	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（ ） 5.その他（ ）
	〇	1月6日	その他	非就労の可能性、昼間からパチンコ、本人の年金で飲酒の可能性	1.写真 2.目視（ ） 3.記録（ ） 4.聴き取り（民から徳島さんより） 5.その他

福山市高齢者支援課 作成（出典:社団法人日本社会福祉士会 作成様式を参考に作成）

参考１（表）

アセスメント要約票

対応計画 　1　回目用

アセスメント要約日： 令和 3年 1月 6日 16:30　　　　要約担当者:保健師

高齢者本人氏名:瀬戸内 フジ	性別・年齢: □男 ■女 80歳	居所: ■自宅 □入所・院	
養護者氏名:瀬戸内 島男	性別・年齢: ■男 □女 59歳	高齢者本人との関係:長男	同別居の状況: ■同居 □別居

高齢者本人の希望

居所の希望:■在宅 □入所 □不明 ／ 分離希望: □有 □無 ■不明

ここが一番ええ。行ったことがない所にいくのはいや。島男もよくしてくれる。

意思疎通：■可能 □特定条件のもとであれば可能（　　　　　　）□困難 □不明
話の内容：□一貫している □変化する ■不明
生活意欲：□意欲や気力が低下しているおそれ（無気力、無反応、おびえ、話をためらう、人目を避ける、等） □不明

Ⅰ．高齢者本人の情報　面接担当者氏名:保健師、社会福祉士

虐待解消に向けた対応課題

【健康状態等】

疾病・傷病 ：
既往歴：高血圧症、高脂血症

受診状況：毛利医院（毛利 元雄医師）、1年以上未受診 服薬状況(種類) ：
受診状況： 服薬状況(種類) ：

診断の必要性： ■内科 □精神科 □外科 □整形外科 ■その他（ 物忘れに関する診断、治療） □不明
具体的症状等⇒あざについての説明が異なる。覚えていないことがある。

要介護認定 ： □非該当 □要支援（ ） □要介護（ ） □申請中（申請日： 年 月 日） ■未申請（認定切れ） □不明

障害 ： □身体障害 □精神障害（□あり □疑い） □知的障害（□あり □疑い） □不明 ■なし

精神状態 ： ■認知症（□診断あり ■疑い） □うつ病（□診断あり □疑い） □その他（　　　　　）

■課題

【危機への対処】

危機対処場面において：□自ら助けを求めることができる ■助けを求めることが困難（訪問をしないと確認できない） □不明

避難先・退避先 ：□助けを求める場所がある（　　　） □ない ■不明

■課題

【成年後見制度の利用】

成年後見人等：□あり（後見人等：　　　　） □申立中（申立人：　　　　） □申立予定あり □申立予定なし ■不明

■課題

【各種制度利用】

□介護保険 □自立支援法 □その他（　　　　　　） □不明 ■なし

■課題

【経済情報】

収入額 月 6.5万円（内訳：年金 ）介護保険利用者負担段階 第2段階 預貯金等＿＿万円 借金＿＿万円 □不明

１ヶ月に本人が使える金額 ＿＿万円
具体的な状況（生活費や借金等）：

徳島さんによるとアパートの家賃は月額35,000円。

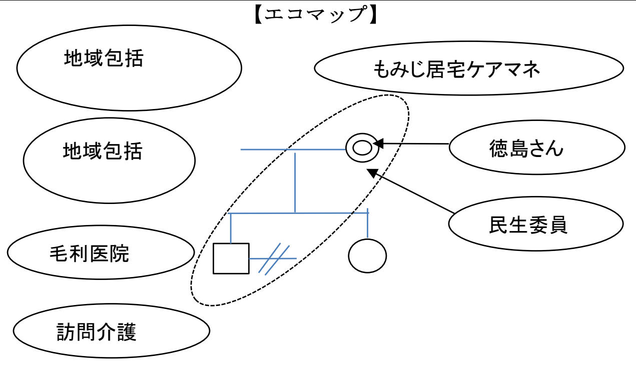
□生活保護受給 □介護保険料滞納 □国民健康保険料滞納 □その他（　　　　） □不明 ■なし

金銭管理 ：□自立 □一部介助（判断可） □全介助（判断不可） ■不明

金銭管理者：□本人 □成年後見人等 □日常生活自立支援事業利用 □その他（　　　） ■不明

■課題

【エコマップ】



【生活状況】

食 事（■一人で可 □一部介助 □全介助 □不明）
調 理（□一人で可 □一部介助 □全介助 □不明 徳島さんの差し入れがある）
移 動（■一人で可（ふらつきあり）□一部介助□全介助□不明）
買 物（□一人で可 □一部介助 □全介助 ■不明）
掃除洗濯（□一人で可 □一部介助 □全介助 ■不明）
入 浴（□一人で可 □一部介助 □全介助 ■不明、髪がべったりとしている。入浴ができていないかもしれない）
服薬管理（□一人で可 □一部介助 □全介助 ■不明）
預貯金年金の管理（□一人で可 □一部介助 □全介助 ■不明）
医療機関の受診 （□一人で可□一部介助□全介助■不明1年以上未受診）

■課題

【性格上の傾向、こだわり、対人関係等】

民生委員が訪問をする。
徳島さんは時々おかず（柔らかい煮物など）を持っていく。

【その他特記事項】

本人が「私がつまらんけぇ毎日怒られる、よう叩かれる」

■課題

社団法人日本社会福祉士会 作成（出典：東京都老人総合研究所作成様式を参考に作成）

参考１（裏）

Ⅱ．養護者の情報　面接担当者氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　虐待解消に向けた対応課題

【養護者の希望】
確認できていない。
■課題

【健康状態等】
疾病・傷病：　　　　　　　　　　　　　　　　既往歴：
受診状況：　　　　　　　　　　服薬状況(種類)　：
受診状況：　　　　　　　　　　服薬状況(種類)　：
診断の必要性：　□内科　□精神科　□外科　□整形外科　□その他（　　　　　　）　■不明
具体的症状等⇒
性格的な偏り：
障害　　　：　□身体障害　□精神障害（□あり　□疑い）　□知的障害（□あり　□疑い）　■不明
■課題

【介護負担】
被虐待高齢者に対する介護意欲：　□あり　□なし　■不明　　　　介護技術・知識：　□高い　□低い　■不明
１日の介護時間：□ほぼ１日中　□必要時のみ　■不明　　　　介護の代替者　：　□あり　□なし　■不明
介護期間（いつから始まったか、負担が大きくなった時期やきっかけ、最近の生活行動の変化など）※期間と負担原因を明確に
平均睡眠時間：およそ＿＿＿時間
■課題

【就労状況】
就労状況：□就労（就労曜日＿＿～＿＿　就労時間＿＿時～＿＿時）、雇用形態（□正規、□非正規）■非就労（徳島さんによると昼間からパチンコばかり）□福祉的就労□不明
■課題

【経済状況】
収入額　月＿＿＿万円（内訳：　　　　）　預貯金等＿＿＿万円　借金＿＿＿万円
■被虐待高齢者の年金に生活費を依存（徳島さんによると、本人の年金で飲んでいるのではないか）□借金トラブルがある□ギャンブルによるトラブルがある　□不明
□生活保護受給　□介護保険料滞納　□国民健康保険料滞納　□その他（　　　　）　■不明
■課題

【近隣との関係】
□良好（　　　）　□挨拶程度　□悪い　□関わりなし　■不明
■課題

Ⅲ．家族関係（家族歴、家族の抱える問題、家族の中の意思決定者、問題が起こったときの対処方法、地域や近隣との関係、等）

※高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書(1) E票 の「支援機関・関連機関等連携マップ」で集約する
本人と息子の二人暮らし。
徳島さんによると、本人の身なりがひどく、右頬にアザが確認できた。食事を食べさせてもらっていないようで、風呂にも入れてもらっていないと思う。物忘れもひどい。
息子に怒鳴られているみたい。
地域包括保健師、社会福祉士が訪問をして本人と面談を行った。本人は年齢が言えなかった。右頬骨付近のあざについて「私がつまらんけぇ、島男に毎日怒られるし、よう叩かれる」と話す。徳島さんがあざについて尋ねると「わからん」と話した。

民生委員によると、息子は5年位前に離婚をしてから本人と一緒に住み始めて、一緒に寿司屋をしていたが2年前に店を閉めた。県内に長女（四国広子様）がいるが結婚後寄り付かなくなった。
徳島さんによると、働かないで昼間からパチンコをしている。ビールの空き缶やゴミがベランダに山積みになっており、家が汚い。本人の年金で飲酒をしているのではないか。
■課題

Ⅳ．その他（関係者、関係機関の関わり等）

※高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書(1) E票 の「支援機関・関連機関等連携マップ」で集約する

頻度は不明だが、民生委員と同じアパートに住む徳島さんがおかずの差し入れ等で訪問をする。
5年以上前に要介護認定を受けて、訪問介護を利用していた。居宅介護支援事業所の担当者は現在も勤めている。
以前は毛利医院に高血圧症、高脂血症の治療を受けていたが、1年以上未受診である。
■課題

〔全体のまとめ〕：Ⅰ～Ⅳで抽出された課題の結果を踏まえて整理する。
※計画書(1) E票 の「総合的な支援の方針」、計画書(2) E票 の「対応困難な課題／今後検討しなければいけない事項」に反映する

本人、養護者への訪問を重ねて虐待の事実確認、発生要因を明らかにする。またそれぞれの生活状況や意向を確認する。
養護者が飲酒をしている可能性が高く、事実確認などで訪問をする際は複数で対応する。訪問を拒否する可能性が高く、養護者と面談をする際には訪問の目的をわかりやすく伝える必要がある。

社団法人日本社会福祉士会　作成（出典：東京都老人総合研究所作成様式を参考に作成）

様式４（表）

演習用シート　ワーク5

高齢者虐待対応　コアメンバー会議録

高齢者本人名前　　瀬戸内 フジ

市:担当者　　課長、主幹、保健師

地域包括支援センター　三葉地域包括支援センター　担当者　保健師、社会福祉士

会議日時:　2021年（令和3年） 1月　6日　16時　30分～　17時　30分

虐待事実の判断	□虐待の事実なし □虐待の疑いあり→□身体的　□放棄・放任　□心理的　□性的　□経済的　□その他 □虐待の事実あり→□身体的　□放棄・放任　□心理的　□性的　□経済的　□その他 （□重度　□中等度　□軽度） □未確定	名前	名前:主任介護支援専門員 名前:保健師 名前:社会福祉士 名前:課長 名前:主幹 名前:保健師
高齢者の安全確認	□確認（誰が）　（どのような方法で） □未確認 立入調査　□否　□要	連携が必要と考えられる関係機関	■高齢者支援課　□障がい福祉課　■生活福祉課 ■民生委員および地域住民（　） □社会福祉協議会　□警察　□法律及び成年後見に関わる専門家 ■医療機関（ 毛利医院 ）■ケアマネジャー　□サービス事業所 □その他（　） ケース会議の開催　□不要　■必要　令和3年　1月　日　時　予定
緊急性の判断	□緊急保護の検討　□保護の検討 □防止のための保護検討　□適切なサービス等の導入の検討 □事実確認を継続		
緊急性の判断根拠	□入院や通院が必要（重篤な外傷、脱水、栄養失調、衰弱等による検査、治療） □高齢者本人・養護者が保護を求めている □暴力や脅しが日常的に行われている □今後重大な結果が生じる、繰り返されるおそれが高い状態 □虐待につながる家庭状況・リスク要因がある □その他（　）	高齢者と養護者の意見・希望	【高齢者】 ここ(自宅)が一番ええ、行ったことがない所にいくのはいや。島男もよくしてくれる。 【養護者】 確認できていない。 ※支援の必要性　■あり　□なし　□不明
総合的な支援の方針と内容	□緊急的分離／保護（　）　□入院（　） □家族支援・家族間調整 □在宅サービス導入・調整（　） □専門医紹介・医療導入支援（　） □経済的支援（生活保護相談・申請／各種減免手続き等）（　） □成年後見制度／福祉サービス/日常生活自立支援事業活用検討 □関係機関との連携（　） □その他（　）	措置の適用	□有：□訪問介護　□通所介護　□短期入所生活介護 □認知症対応型共同生活介護□小規模多機能型居宅介護 □養護老人ホーム　□特別養護老人ホーム ■無：□検討中（理由：　）
		成年後見制度等	□有　□無　■検討中（理由：経済状況、金銭管理状況が不明）

福山市高齢者支援課　作成（出典：社団法人日本社会福祉士会作様式を参考に作成）

様式４（裏）

演習用シート　ワーク5

高齢者虐待対応計画書　コアメンバー会議録（2）

対象	優先順位	課題（何が問題か）	目標（あるべき姿）	具体的な役割分担		
				何を・どのように	だれが（支援機関・担当者等）	いつまでに（実施日時・期間／評価日）
高齢者	1	本人の生活状況、虐待（介護放棄、心理的虐待、経済的虐待）の事実確認ができていない。	生活状況や虐待の事実確認を行い、虐待の発生要因が明らかになる。			
養護者	1	養護者に会えておらず、虐待の事実確認、養護者の生活状況、介護状況が不明。	養護者と会って、虐待の事実確認や生活、介護状況が確認でき、虐待の発生要因が明らかになる。			
その他の家族						
関係者						

進捗状況報告（　月　日，　月　日，　月　日　）☐支援終了日　年　月　日　　計画評価予定日　年　月　日

対応が困難な課題／今後検討しなければならない事項など（虐待終結に向けた課題等を記載）

本人への訪問を継続して虐待の事実や意向、生活状況など得られていない情報を確認する。
養護者についての情報が少なく、会えていないため虐待の事実確認が必要である。養護者が飲酒をしている可能性が高く、事実確認などで訪問をする際は複数で対応する。訪問を拒否する可能性が高く、養護者と面談をする際には訪問の目的をわかりやすく伝える必要がある。
県内に住む長女がどの程度関わっていて、今後の協力が得られるかについて確認方法も含めて検討する。

※記入欄が足りない場合は、様式を追加して記入

福山市高齢者支援課　作成（出典：社団法人日本社会福祉士会作様式を参考に作成）

<コアメンバー会議・支援計画書に基づいた支援>
令和３年１月７日９：００、包括社会福祉士が、島男との面談のために自宅訪問。フジが出てきて「島男は夕べ遅く帰ってきた。今寝ている」とのことで、面会できなかった。フジの身体状況は特に変わりないように見えたが、昨日と同じ服を着ていた。右頬の内出血は少し黄みを帯びてきていた。

１１：００、民生委員から地域包括支援センターへ電話。「徳島さんからの話では、昨日も息子が怒鳴っていたそうです。お隣の岡山さんのところにも聞きに行ったら、昨日はものすごい物音とフジさんの泣き叫ぶ声が聞こえたそうです。大丈夫か心配です。早く何とかしてあげてください。午後になると、島男さんはいつも車で出かけることが多いみたいです」
民生委員からの情報を市と包括内で情報共有し、フジの安否確認に自宅訪問することとする。

１３：３０、フジ宅訪問(市保健師、包括社会福祉士)。今度は戸を大きく開け、玄関先まで迎え入れてくれたが、島男は不在であった。フジの身体状況に変化は見られず。ズボンが失禁で濡れてシミになっており、ひどく尿臭がした。笑顔で、「おたくらは、どちらから来られたんですかいね？」と聞くので改めて挨拶する。保健師が血圧測定すると、１８６／９２、足のむくみも確認できた。
「息子さんはお出かけですか？」ときくと、「ほうじゃろう・・・わからん」と言う。「お昼ご飯は？」と聞くと、「そりゃあ食べたよ。」と答えるが、何を食べたか聞くと、答えられない。床やダイニングテーブルの上は、ビールの空き缶、弁当の空き箱やゴミが散乱していた。そのテーブルの上に食べかけのアンパンがあった。「アンパンがお好きなんですか？」と聞くと、うなずいた後、再度「おたくらはどちらから来られたんですかいね？」と聞かれた。

１４：００、階下に住む知人徳島さん宅訪問。「昨日も夜中に怒鳴り声がして、その声で目がさめた。長い時間じゃなくていつもと一緒で二言、三言怒鳴る感じ。フジさんの声は聞こえんかった・・。今日も昼過ぎにも気になって行ってみたけど、アンパンを食べていた。他には食べるものはなさそうだった。」

１４：１５、隣人岡山さん宅へ訪問。「毎日怒鳴り声が聞こえます。昨日は夜11時くらいだったと思う。息子が何か言ってドスンって音がしたから気になって、壁に耳をつけて聞いてみたら、シクシク泣いているような声がきこえたんです。」

１月８日、 包括主任介護支援専門員が、もみじ居宅のケアマネに連絡。ケアマネからは、前回の更新時期に更新をすすめたが、フジ、島男よりサービスの希望がないこと、申請したい時はまた相談するとのことで、更新しなかったとの情報を得る。娘の広子については会ったことがなかった。今後の協力を依頼し、了承を得た。

１月１１日、昼前に包括保健師、市保健師でフジ宅を訪問してみるが、島男に会えなかった。

１月１３日１０：００、包括保健師、市保健師で再び訪問するが島男に会えなかった。午後、徳島さんから電話。「昨日の午後、ゴミを少しでも片付けてあげようかと思って、押し入れを開けたら、汚れた下着や服の詰め込まれた大きなビニール袋が４つもあった」と情報が寄せられた。

＜コアメンバー会議・支援計画書に基づく評価会議＞
　令和３年１月１５日１３：００、市の健康推進課にてコアメンバー評価会議を開催。出席者は、健康推進課課長、主幹、保健師、地域包括支援センター社会福祉士、保健師であった。
　疑われる虐待の発生要因やフジ・島男の意向確認が行えるよう、不足している情報について事実確認を継続する。情報を整理してフジ・島男それぞれに必要な支援を行うこととする。

＜第１回　高齢者虐待対応ケース会議＞
　１３：３０、評価会議に引き続き、虐待対応ケース会議を開催。出席者は、市主幹、保健師、地域包括支援センター社会福祉士、保健師、もみじ居宅ケアマネ。
訪問時の血圧も高かったことから、以前かかっていた主治医（毛利医院）への再受診と、高血圧、高脂血症の治療を再開の必要性があることを確認した。訪問時の状況から、認知症については専門医の受診を検討することが妥当であることを確認した。また、要介護認定の新規申請と、広子の連絡先を再度確認することとする。
　フジの身体状況、意思確認に努め、また、地域包括支援センターと健康推進課は、島男との面談ができるよう訪問を継続し、意向を確認していくこととする。経済状況や金銭管理についても、面談を継続し、確認していく。

様式５（表）

事実確認票－チェックシート

追加情報

確認者：保健師、社会福祉士　　確認日時：2021年(令和3年)　1月6日　9時　～　1月13日　10時

高齢者本人名前	瀬戸内　フジ	性別	□男 ■女	生年月日	年　月　日生	年齢	80　歳
確認場所	■居宅　□来所（□行政　□地域包括支援センター）　□その他（　　　）						
確認時の同席者の有無	□無　■有（名前：　民生委員　　）						

発言内容や状態・行動・態度など（見聞きしたことをそのまま記入）

【本人】

（本人と面談）
やせ気味で唇が渇いている。爪は黒ずみ伸びている。髪はベッタリしている。衣類は汚れて尿臭が漂う。右頬に５センチくらいの赤黒い斑点状の内出血の跡がある。年齢が思い出せない。食事は「食べた」と話し、困っていることは「無い」と答えた。外出に関して「ここが一番ええ。行ったことがないところに行くのは嫌。」息子について「よくしてくれる」右頬のあざについて「私がつまらんけぇ、島男に毎日怒られるし、よう叩かれる」いつ叩かれたのかは覚えていない。会話も何度も同じことを話す。7日、アザは黄味を帯びてきていた。血圧が高め(186/92)足のむくみも確認した。
（徳島さんより聞き取り）
「急にこの半年くらいでボケてきた」島男とは５年位前から一緒に住むようになり、寿司屋をしていたが２年前に止めた。一人暮らしの頃にはヘルパーを利用していた。本人は少しずつ痩せてきている。アンパンが好きみたい。歩くときヨロヨロしている。頬のあざは本人に聞いても「わからん」と話していた。7日は「夜中に怒鳴り声がした。いつもと一緒で二言、三言怒鳴る感じ。フジさんの声は聞こえていない。今日も昼過ぎに行ってきたが、アンパンを食べており、他に食べるものはなさそうだった」と話す。13日、押入れの中に汚れた下着や服が詰め込まれたビニール袋が４つあった。
（毛利医院より聞きとり）高血圧症と高脂血症の治療をしていたが、１年以上未受診である。
(民生委員より聴き取り)徳島さんからの話では昨日（1/7）も息子が怒鳴っていた。岡山さんからは昨日（1/7）はものすごい物音とフジさんが泣き叫ぶ声が聞こえたそうだ。
(岡山さんからの聴き取り)　毎日怒鳴り声が聞こえる。昨日（1/7）は夜11時くらい、ドスンという音が聞こえた。シクシク泣く声も聞こえた。
(もみじ居宅ケアマネより聴き取り)　前回更新の時には希望がなく、更新しなかった。

【養護者】

（民生委員より聞き取り、民生委員は徳島さんから聞いた情報）
食事を食べさせたり、お風呂に入れさせていないのではないか。働かないで本人の年金でお酒を購入して飲んでいるのではないか。午後になると車で出かけていることが多い様子。
（徳島さんより聞き取り）
５年位前に本人と一緒に住むようになり、一緒に寿司屋をしていたが２年位前にやめた。
昔からお酒が好きみたいで、陽気なお酒を飲む人だった。店をしめてから毎日パチンコに行き、夜９～１１時に「ええかげんにせえや」などの怒鳴り声や大きな音がする。

【第三者】：（　娘の広子　　）
（徳島さんより聞き取り）
もともと仲の良い親子だった。なぜか分からないけど結婚してから寄り付かなくなった。県内に住んでいると思われる。
(もみじ居宅ケアマネより聴き取り)　会ったことはないことを確認。

虐待の全体的状況

本人との面談によると、本人は息子に毎日怒られるし叩かれる」と話す。また、伝聞と面談により本人に認知力の低下がみられることも確認。衣類、尿臭、非衛生的な室内、食事状況の聴き取りからも食事や保清が十分にできていないのではないか。同居の息子は働かないで毎日パチンコに行き、本人の年金でお酒の購入、飲酒をしているのではないか。夜９～１１時に怒鳴り声や大きな音を立てている。本人の泣き声が聞こえるという情報からも本人が安心して生活できているとは言えないのではないか。

発生状況

１．**虐待がはじまったと思われる時期**：　　年　　月頃（不明）

２．**虐待が発生する頻度**：毎日（階下の徳島さんによると毎晩怒鳴り声や大きな音がする）

３．**虐待が発生するきっかけ**：不明

４．**虐待が発生しやすい時間帯**：夜９～１１時

※裏面の事実確認項目（サイン）を利用して事実確認を行う。

様式５（裏）

事実確認項目（サイン）

追加情報

※1:「通」:通報があった内容に○をつける。「確認日」:行政および地域包括支援センター職員が確認した日付を記入。

※2:太字の項目が確認された場合は、『緊急保護の検討』が必要。ただちに高齢者支援課に報告すること。

	通	確認日	確認項目	サイン:当てはまるものがあれば○で囲み、他に気になる点があれば(　)に簡単に記入	確認方法
身体の状態・けが等			**外傷等**	**頭部外傷(血腫、骨折等の疑い)、腹部外傷、重度の褥そう、その他(　)** 部位:　大きさ:	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			全身状態・意識レベル	**全身衰弱、意識混濁、その他(　)**	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
		1月6日	**脱水症状**	**重い脱水症状、脱水症状の繰り返し、**軽い脱水症状、その他(　唇が渇いている　)	1.写真 2.目視（包括） 3.記録（） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			栄養状態等	**栄養失調**、低栄養・低血糖の疑い、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
	○	1/6,7日	あざや傷	身体に複数のあざ、頻繁なあざ、やけど、刺し傷、打撲痕・腫張、床ずれ、その他(1ヶ所のあざ　) 部位:右頬　大きさ:　色:黄味を帯びてきていた	1.写真 2.目視（包括） 3.記録（　） 4.聴き取り（民生委員） 5.その他（）
			体重の増減	急な体重の減少、やせすぎ、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			出血や傷の有無	生殖器等の傷、出血、かゆみの訴え、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			その他		1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（岡山さん） 5.その他（）
生活の状況		1月7日	衣服・寝具の清潔さ	着の身着のまま、濡れたままの下着、汚れたままのシーツ、その他(　ズボンにシミ、尿臭。身なりがひどい　)	1.写真 2 目視（包括） 3.記録（　） 4.聴き取り（民生委員） 5.その他（）
		1月7日	身体の清潔さ	身体の異臭、汚れのひどい髪、皮膚の潰瘍、のび放題の爪、その他(　入浴ができていないと思う　)	1.写真 2 目視（市・包括） 3.記録 4.聴取（民生委員） 5.その他（　）
		1月7日	適切な食事	菓子パンのみの食事、余所ではガツガツ食べる、拒食や過食が見られる、 その他(食事を食べさせてもらっていないと思われる)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（民が徳島さんより） 5.その他（）
			適切な睡眠	不眠の訴え、不規則な睡眠、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			行為の制限	自由に外出できない、自由に家族以外の人と話すことができない、 長時間家の外に出されている、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
		1月7日	不自然な状況	資産と日常生活の大きな落差、食べる物にも困っている(アンパン以外の食べるもの 確認できていない)、年金通帳・預貯金通帳がない、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
	○	1月7日	住環境の適切さ	異臭がする、極度に乱雑、ベタベタした感じ、暖房の欠如、その他(台所に物が溢れ ている。ビールの空き缶やゴミが放置、ベランダに山積み)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（民が徳島さんより） 5.その他（）
		1月13日	その他	押入れの中に汚れた下着や服が詰めこまれたビニール袋4つ	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（徳島さんより） 5.その他（）
話の内容			**恐怖や不安の訴え**	**「怖い」「痛い」「怒られる」「殴られる」などの発言、その他(　)**	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			保護の訴え	**「殺される」「○○が怖い」「何も食べていない」「家にいたくない」「帰りたくない」 などの発言、その他(　)**	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			強い自殺念慮	**「死にたい」などの発言、自分を否定的に話す、その他(　)**	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
		1月6日	あざや傷の説明	つじつまが合わない、求めても説明しない、隠そうとする、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			金銭の訴え	「お金をとられた」「年金が入ってこない」「貯金がなくなった」などの発言、 その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			性的事柄の訴え	「生殖器の写真を撮られた」などの発言、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
		1月7日	話のためらい	関係者に話すことをためらう、話す内容が変化、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（本人） 5.その他（　）
	○	1月6,7日	その他	物忘れがここ半年くらいでひどくなった。同じ話を繰り返す	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（民が徳島さんより、本人） 5.その他
表情・態度			おびえ、不安	おびえた表情、急に不安がる、怖がる、人目を避けたがる、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			無気力さ	無気力な表情、問いかけに無反応、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			態度の変化	家族のいる場面いない場面で態度が異なる、なげやりな態度、急な態度の変化、 その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
		1月7日	その他	シクシク泣く声が聞こえる、泣き叫ぶ声が聞こえる。	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（岡山さん） 5.その他（）
適切な支援		1月7日	適切な医療の受診	家族が受診を拒否、受診を勧めても行った気配がない、その他(高血圧、高脂血症)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（行政が医療） 5.その他（）
			適切な服薬の管理	本人が処方されていない薬を服用、処方された薬を適切に服薬できていない、 その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			入退院の状況	入退院の繰り返し、救急搬送の繰り返し、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			適切な介護等ｻｰﾋﾞｽ	必要であるが未利用、勧めても無視あるいは拒否、必要量が極端に不足、 その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4. 聴き取り（　）5.その他（　）
		1月8日	支援のためらい・拒否	援助を受けたがらない、新たなサービスは拒否、その他(介護保険更新拒否　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4 聴き取り（ケアマネ） 5.その他（）
			費用負担	サービス利用負担が突然払えなくなる、サービス利用をためらう、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			その他		1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
養護者の態度等			**支援者への発言**	**「何をするかわからない」「殺してしまうかもしれない」等の訴えがある、 その他(　)**	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			保護の訴え	**虐待者が高齢者の保護を求めている、その他(　)**	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			暴力、脅し等	**刃物、ビンなど凶器を使った暴力や脅しがある、その他(　)**	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
		1月7日	高齢者に対する態度	冷淡、横柄、無関心、支配的、攻撃的、拒否的、その他(大きな音がする)	1.写真 2.目視（）3.記録（　） 4.聴取（民生委員、近隣） 5.その他
	○	1月6日	高齢者への発言	「早く死んでしまえ」など否定的な発言、コミュニケーションをとろうとしない、 その他(　毎晩怒鳴り声がする)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（民が徳島さんより） 5.その他（）
			支援者に対する態度	援助の専門家と会うのを避ける、話したがらない、拒否的、専門家に責任転嫁、 その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
			精神状態・判断能力	虐待者の精神的不安定・判断力低下、非現実的な認識、その他(　)	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4.聴き取り（　） 5.その他（　）
	○	1月6日	その他	非就労の可能性、本人の年金で飲酒の可能性、昼間からパチンコ	1.写真 2.目視（　） 3.記録（　） 4 聴取（民から徳島さんより） 5.その他（）

福山市高齢者支援課　作成（出典:社団法人日本社会福祉士会 作成様式を参考に作成）

参考１（表）　**演習用シート**

アセスメント要約票

対応計画_2_回目用

アセスメント要約日：令和 3年 1月 15日（13:30）　　要約担当者：包括社会福祉士

高齢者本人氏名：瀬戸内 フジ	性別・年齢：□男 ■女 80歳	居所：■自宅 □入所・院	
養護者氏名 ：瀬戸内 島男	性別・年齢：■男 □女 59歳	高齢者本人との関係：長男	同別居の状況：■同居 □別居

高齢者本人の希望

居所の希望：■在宅 □入所 □不明 ／ 分離希望：□有 ■無 □不明

ここが一番ええ。行ったことがない所に行くのはいや、島男もよくしてくれる。

意思疎通：■可能 □特定条件のもとであれば可能（　　　）□困難 □不明
話の内容：□一貫している ■変化する
生活意欲：■意欲や気力が低下しているおそれ（無気力、無反応、おびえ、話をためらう、人目を避ける、等）

Ⅰ．高齢者本人の情報　面接担当者氏名 包括保健師、包括社会福祉士

（右欄：虐待解消に向けた対応課題）（ワーク６）

【健康状態等】

疾病・傷病 ：　　既往歴： 高血圧症、高脂血症

受診状況：毛利医院（毛利 元雄医師）、1年以上未受診　服薬状況(種類) ：
受診状況：　服薬状況(種類) ：

診断の必要性：■内科 □精神科 □外科 □整形外科 ■その他（ 物忘れに関する診断、治療） □不明
具体的症状等⇒あざについての説明が異なる。覚えていないことがある。　□課題

要介護認定 ：□非該当 □要支援（ ） □要介護（ ） □申請中（申請日： 年 月 日）■未申請(認定切れ)

障害 ：□身体障害 □精神障害（□あり □疑い） □知的障害（□あり □疑い）

精神状態 ：■認知症（□診断あり ■疑い） □うつ病（□診断あり □疑い） □その他（　　）

【危機への対処】

危機対処場面において：□自ら助けを求めることができる ■助けを求めることが困難　□課題

避難先・退避先 ：□助けを求める場所がある（　　） □ない ■不明

【成年後見制度の利用】

成年後見人等：□あり（後見人等：　　） □申立中（申立人：　　） □申立予定あり □申立予定なし ■不明　□課題

【各種制度利用】

□介護保険 □自立支援法 □その他（　　）　□課題

【経済情報】

収入額 月_6.5_万円（内訳：　　） 預貯金等____万円 借金____万円

１ヶ月に本人が使える金額 ____万円

具体的な状況（生活費や借金等）：

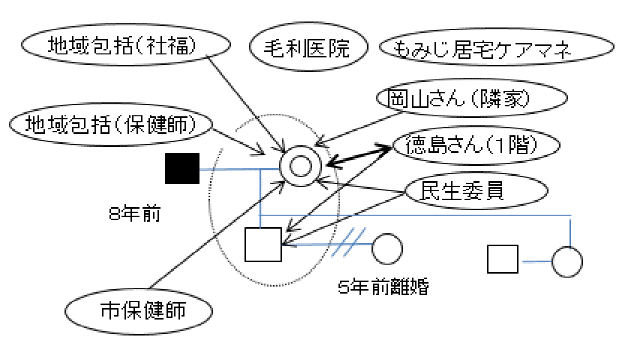
徳島さんによるとアパートの家賃は月額35,000円　□課題

□生活保護受給 □介護保険料滞納 □国民健康保険料滞納 □その他（　　）

金銭管理 ：□自立 □一部介助（判断可） □全介助（判断不可） ■不明

金銭管理者：□本人 □成年後見人等 □日常生活自立支援事業利用 □その他（　　） ■不明

【エコマップ】



【生活状況】

食　　事（■一人で可 □一部介助 □全介助）
調　　理（□一人で可 □一部介助 □全介助）
移　　動（■一人で可 □一部介助 □全介助）
買　　物（□一人で可 □一部介助 □全介助）
掃除洗濯（□一人で可 □一部介助 □全介助）
入　　浴（□一人で可 □一部介助 □全介助）
服薬管理（□一人で可 □一部介助 □全介助）
預貯金年金の管理（□一人で可 □一部介助 □全介助）
医療機関の受診 （□一人で可 □一部介助 □全介助）　□課題

【性格上の傾向、こだわり、対人関係等】

徳島さんはおかずの差し入れをして、掃除をすることもある。徳島さんは養護者の怒鳴り声、大きな物音が聞こえたと話す。
岡山さんは本人の泣き叫ぶ声やシクシク泣く声が聞こえたと話す。
民生委員も訪問をする。本人の性格、こだわりは不明。

【その他特記事項】

本人が「私がつまらんけぇ毎日怒られる、よう叩かれる」
同じ服を着て失禁でズボンにシミができ、尿臭がする。　□課題

社団法人日本社会福祉士会 作成（出典：東京都老人総合研究所作成様式を参考に作成）

参考１
（裏）

Ⅱ. 養護者の情報　面接担当者氏名:面談できていない。　　虐待解消に向けた対応課題

【養護者の希望】

確認できていない。

□課題

【健康状態等】

疾病・傷病：　　既往歴：

受診状況：　　服薬状況（種類）：

受診状況：　　服薬状況（種類）：

診断の必要性：　□内科　□精神科　□外科　□整形外科　□その他（　　　）
具体的症状等⇒

性格的な偏り：　確認できていない。

障害　：　□身体障害　□精神障害（□あり　□疑い）　□知的障害（□あり　□疑い）　■不明

□課題

【介護負担】

被虐待高齢者に対する介護意欲：　□あり　□なし　■不明　　介護技術・知識：　□高い　□低い　■不明

１日の介護時間：□ほぼ１日中　□必要時のみ　■不明　　介護の代替者　：　□あり　□なし　■不明

介護期間（いつから始まったか、負担が大きくなった時期やきっかけ、最近の生活行動の変化など）※期間と負担原因を明確に
徳島さんによると、最近夜9時から11時の間に毎日のように怒鳴り声、大きな音がするようになった。
半年くらい前から本人の物忘れが目立つようになった。

平均睡眠時間：およそ＿＿＿時間

□課題

【就労状況】

就労状況：□就労（就労曜日＿＿～＿＿　就労時間＿＿時～＿＿時）、雇用形態（□正規、□非正規）■非就労（徳島さんからの聞き取り）□福祉的就労

□課題

【経済状況】

収入額　月＿＿＿万円（内訳：　　　）　預貯金等＿＿＿万円　借金＿＿＿万円

■被虐待高齢者の年金に生活費を依存（徳島さんによると本人の年金で飲んでいるのではないか）□借金トラブルがある□ギャンブルによるトラブルがある

□生活保護受給　□介護保険料滞納　□国民健康保険料滞納　□その他（　　　）

□課題

【近隣との関係】

□良好（　）□挨拶程度　□悪い　□関わりなし　■不明　近隣の徳島さんは「島男ちゃん」と呼ぶ。働いていた頃のことを知っている。

□課題

Ⅲ. 家族関係（家族歴、家族の抱える問題、家族の中の意思決定者、問題が起こったときの対処方法、地域や近隣との関係、等）

※高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書(1) の「支援機関・関連機関等連携マップ」で集約する

本人と息子の二人暮らし。
徳島さんによると、本人の身なりがひどく、右頬にアザが確認できた。食事を食べさせてもらっていないようで、風呂にも入れてもらっていないと思う。物忘れもひどい。
息子に怒鳴られているみたい。
地域包括保健師、社会福祉士が訪問をして本人と面談を行った。本人は年齢が言えなかった。右頬骨付近のあざについて「私がつまらんけぇ、島男に毎日怒られるし、よう叩かれる」と話す。徳島さんがあざについて尋ねると「わからん」と話した。
民生委員によると、息子は5年位前に離婚をしてから本人と一緒に住み始めて、一緒に寿司屋をしていたが2年前に店を閉めた。県内に長女（四国広子様）がいるが結婚後寄り付かなくなった。
徳島さんによると、働かないで昼間からパチンコをしている。ビールの空き缶やゴミがベランダに山積みになっており、家が汚い。本人の年金で飲酒をしているのではないか。

□課題

Ⅳ. その他（関係者、関係機関の関わり等）

※高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書(1) の「支援機関・関連機関等連携マップ」で集約する

頻度は不明だが、民生委員と同じアパートに住む徳島さんがおかずの差し入れ等で訪問をする。
5年以上前に要介護認定を受けて、訪問介護を利用していた。居宅介護支援事業所の担当者は現在も勤めている。
以前は毛利医院に高血圧症、高脂血症の治療を受けていたが、1年以上未受診である。

□課題

ワーク６

〔全体のまとめ〕：Ⅰ～Ⅳで抽出された課題の結果を踏まえて整理する。
※計画書(1) の「総合的な支援の方針」、計画書(2) の「対応困難な課題／今後検討しなければいけない事項」に反映する

社団法人日本社会福祉士会 作成（出典：東京都老人総合研究所作成様式を参考に作成）

参考１（表）　**解説・演習用**

アセスメント要約票

対応計画　2　回目用

アセスメント要約日：　令和3年　1月　15日 (13:30)　　　　要約担当者：包括社会福祉士

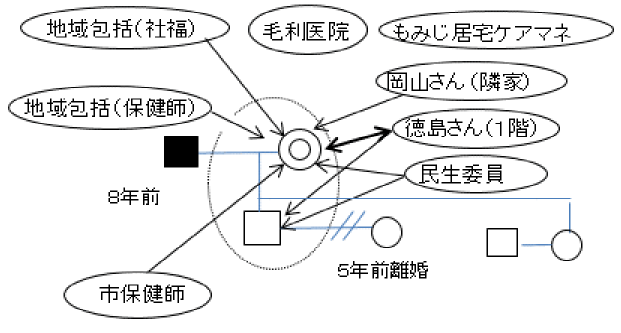
高齢者本人氏名:瀬戸内　フジ	性別･年齢:　☐男　■女　80歳	居所:　■自宅　☐入所･院	
養護者氏名　　:瀬戸内　島男	性別･年齢:　■男　☐女　59歳	高齢者本人との関係:　長男	同別居の状況:　■同居　☐別居

高齢者本人の希望	居所の希望:■在宅　☐入所　☐不明　／　分離希望:☐有　■無　☐不明
	ここが一番ええ。行ったことがない所に行くのはいや、島男もよくしてくれる。
	意思疎通：■可能　☐特定条件のもとであれば可能（　　　）　☐困難　☐不明 話の内容：☐一貫している　■変化する 生活意欲：■意欲や気力が低下しているおそれ（無気力、無反応、おびえ、話をためらう、人目を避ける、等）

Ⅰ. 高齢者本人の情報　面接担当者氏名 包括保健師、包括社会福祉士

項目	虐待解消に向けた対応課題
【健康状態等】 疾病・傷病　：　　　既往歴：　高血圧症、高脂血症 受診状況：毛利医院（毛利　元雄医師）、1年以上未受診　服薬状況(種類)　： 受診状況：　　　服薬状況(種類)　： 診断の必要性：　■内科　☐精神科　☐外科　☐整形外科　■その他（　物忘れに関する診断、治療）　☐不明 具体的症状等⇒あざについての説明が異なる。覚えていないことがある。 要介護認定　：　☐非該当　☐要支援（　）　☐要介護（　）　☐申請中（申請日：　年　月　日）■未申請(認定切れ) 障害　：　☐身体障害　☐精神障害（☐あり　☐疑い）　☐知的障害（☐あり　☐疑い） 精神状態　：　■認知症（☐診断あり　■疑い）　☐うつ病（☐診断あり　☐疑い）　☐その他（　）	■課題
【危機への対処】 危機対処場面において：☐自ら助けを求めることができる　■助けを求めることが困難 避難先・退避先　：☐助けを求める場所がある（　）　☐ない　■不明	■課題
【成年後見制度の利用】 成年後見人等：☐あり（後見人等：　）　☐申立中（申立人：　）　☐申立予定あり　☐申立予定なし　■不明	■課題
【各種制度利用】 ☐介護保険　☐自立支援法　☐その他（　）	■課題
【経済情報】 収入額　月＿6.5＿万円（内訳：　）　預貯金等＿＿＿万円　借金＿＿＿万円 １ヶ月に本人が使える金額　＿＿＿万円 具体的な状況（生活費や借金等）： 徳島さんによるとアパートの家賃は月額35,000円 ☐生活保護受給　☐介護保険料滞納　☐国民健康保険料滞納　☐その他（　） 金銭管理　：☐自立　☐一部介助（判断可）　☐全介助（判断不可）　■不明 金銭管理者：☐本人　☐成年後見人等　☐日常生活自立支援事業利用　☐その他（　）■不明	■課題

【エコマップ】



【生活状況】

食　事（■一人で可　☐一部介助　☐全介助）
調　理（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助）
移　動（■一人で可　☐一部介助　☐全介助）
買　物（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助）
掃除洗濯（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助）
入　浴（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助）
服薬管理（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助）
預貯金年金の管理（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助）
医療機関の受診　（☐一人で可　☐一部介助　☐全介助）

■課題

【性格上の傾向、こだわり、対人関係等】

徳島さんはおかずの差し入れをして、掃除をすることもある。徳島さんは養護者の怒鳴り声、大きな物音が聞こえたと話す。
岡山さんは泣き叫ぶ声やシクシク泣く声が聞こえたと話す。
民生委員も訪問をする。本人の性格、こだわりは不明。

【その他特記事項】

本人が「私がつまらんけぇ毎日怒られる、よう叩かれる」
同じ服を着て失禁でズボンにシミができ、尿臭がする。

■課題

社団法人日本社会福祉士会 作成（出典：東京都老人総合研究所作成様式を参考に作成）

参考１
（裏）

Ⅱ．養護者の情報　面接担当者氏名：面談できていない。	虐待解消に向けた対応課題
【養護者の希望】 確認できていない。	■課題
【健康状態等】 疾病・傷病：　既往歴： 受診状況：　服薬状況（種類）： 受診状況：　服薬状況（種類）： 診断の必要性：　□内科　□精神科　□外科　□整形外科　□その他（　　） 具体的症状等⇒ 性格的な偏り：　確認できていない。 障害　：　□身体障害　□精神障害（□あり　□疑い）　□知的障害（□あり　□疑い）　■不明	■課題
【介護負担】 被虐待高齢者に対する介護意欲：　□あり　□なし　■不明　介護技術・知識：　□高い　□低い　■不明 １日の介護時間：□ほぼ１日中　□必要時のみ　■不明　介護の代替者　：　□あり　□なし　■不明 介護期間（いつから始まったか、負担が大きくなった時期やきっかけ、最近の生活行動の変化など）※期間と負担原因を明確に 徳島さんによると、最近夜9時から11時の間に毎日のように怒鳴り声、大きな音がするようになった。 半年くらい前から本人の物忘れが目立つようになった。 平均睡眠時間：およそ＿＿＿時間	■課題
【就労状況】 就労状況：□就労（就労曜日＿＿～＿＿　就労時間＿＿時～＿＿時）、雇用形態（□正規、□非正規）　■非就労（徳島さんによると）　□福祉的就労	■課題
【経済状況】 収入額　月＿＿＿万円（内訳：　　）　預貯金等＿＿＿万円　借金＿＿＿万円 ■被虐待高齢者の年金に生活費を依存（徳島さんによると本人の年金で飲んでいるのではないか）□借金トラブルがある□ギャンブルによるトラブルがある □生活保護受給　□介護保険料滞納　□国民健康保険料滞納　□その他（　　）	■課題
【近隣との関係】 □良好（　）□挨拶程度　□悪い　□関わりなし　■不明　近隣の徳島さんは「島男ちゃん」と呼ぶ。働いていた頃のことを知っている。	■課題

Ⅲ．家族関係（家族歴、家族の抱える問題、家族の中の意思決定者、問題が起こったときの対処方法、地域や近隣との関係、等）	
※高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書(1) の「支援機関・関連機関等連携マップ」で集約する 本人と息子の二人暮らし。 徳島さんによると、本人の身なりがひどく、右頬にアザが確認できた。食事を食べさせてもらっていないようで、風呂にも入れてもらっていないと思う。物忘れもひどい。 息子に怒鳴られているみたい。 地域包括保健師、社会福祉士が訪問をして本人と面談を行った。本人は年齢が言えなかった。右頬骨付近のあざについて「私がつまらんけぇ、島男に毎日怒られるし、よう叩かれる」と話す。徳島さんがあざについて尋ねると「わからん」と話した。 民生委員によると、息子は5年位前に離婚をしてから本人と一緒に住み始めて、一緒に寿司屋をしていたが2年前に店を閉めた。県内に長女（四国広子様）がいるが結婚後寄り付かなくなった。徳島さんによると、働かないで昼間からパチンコをしている。ビールの空き缶やゴミがベランダに山積みになっており、家が汚い。本人の年金で飲酒をしているのではないか。	■課題

Ⅳ．その他（関係者、関係機関の関わり等）	
※高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書(1) の「支援機関・関連機関等連携マップ」で集約する 頻度は不明だが、民生委員と同じアパートに住む徳島さんがおかずの差し入れ等で訪問をする。 5年以上前に要介護認定を受けて、訪問介護を利用していた。居宅介護支援事業所の担当者は現在も勤めている。 以前は毛利医院に高血圧症、高脂血症の治療を受けていたが、1年以上未受診である。	■課題

〔全体のまとめ〕：Ⅰ～Ⅳで抽出された課題の結果を踏まえて整理する。 ※計画書(1) の「総合的な支援の方針」、計画書(2) の「対応困難な課題／今後検討しなければいけない事項」に反映する	
Ⅰ.高齢者本人 Ⅱ.養護者 Ⅲ.家族関係 Ⅳ.その他（近隣・地域住民等との関係、地域の社会資源、関係者・関係機関の関わり等） Ⅴ.今後の課題	ワーク7

社団法人日本社会福祉士会 作成（出典：東京都老人総合研究所作成様式を参考に作成）

参考２
（表）

演習用

高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書（１）

計画作成日　　令和 3年　1月　15日

高齢者本人氏名　　瀬戸内　フジ

初回計画作成日　令和 3年　1月　15日

計画作成者所属　三葉地域包括支援センター

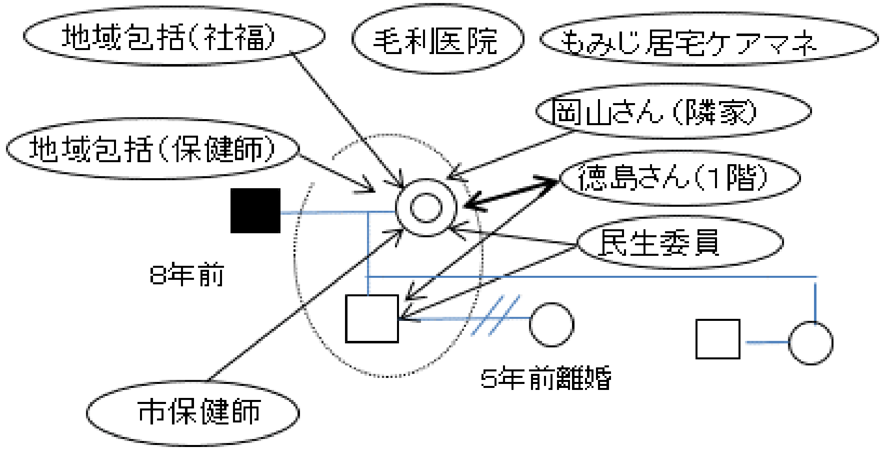
計画作成者氏名　社会福祉士

計画作成段階	見直し（丸で囲まれている）　措置解除　虐待終結
計画の作成回数：	2 回目

会議日時：　令和 3年　1月　15日　13時　30分～　14時　30分

会議目的	本人や養護者の生活状況を整理し、そこから課題を明らかにするとともに、今後の支援方針について決定する。	出席者	所属：　健康推進課　主幹 所属：　健康推進課　保健師 所属：　三葉地域包括支援センター保健師 所属：　　〃　　　　社会福祉士 所属：もみじ居宅介護支援事業所　ケアマネ
高齢者本人の意見・希望	ここが一番ええ。行ったことがない所に行くのはいや、島男もよくしてくれる。	支援機関・関連機関等連携マップ	（下図参照）
養護者の意見・希望	不明 ※支援の必要性　□あり　□なし　■不明		
総合的な支援の方針 ※アセスメント要約票〔全体のまとめ〕より	①本人の身体状況を医学的に診断し、必要な医療および介護サービスにつなげる。 ②養護者への訪問を継続して、意向や生活状況を確認する。 ③養護者と長女の関係を把握し、協力が得られる関係づくりを支援する。		

支援機関・関連機関等連携マップ



社団法人日本社会福祉士会　作成（出典：東京都老人総合研究所「支援計画書(第２版)」を参考に作成）

参考２（裏）	演習用シート

高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書（２）

対象	優先順位	課題	目標	具体的な役割分担 何を・どのように	支援機関・担当者等	実施日時・期間／評価日
ワーク8 高齢者						
ワーク8 高齢者						
ワーク8 養護者						
その他の家族		県内に住む長女の支援、意向について確認ができていない。	養護者と長女の関係を把握し、協力が得られる関係づくりを支援する。	民生委員や近隣住民に長女の連絡先を知っている人がいるか情報収集を行う。 連絡先がわかればケアマネジャーから長女に連絡をして協力がどの程度得られるかを確認し、協力を依頼する。	包括社会福祉士、もみじ居宅ケアマネ	
関係者						

進捗状況報告（　月　日，　月　日，　月　日　）☐支援終了日　　年　　月　　日　｜　計画評価予定日　　年　　月　　日

対応が困難な課題／今後検討しなければならない事項など（虐待終結に向けた課題等を記載）

養護者と長女が地域包括やケアマネジャーとの関わりを拒否した際の対応方法を検討する。
世帯の経済状況や金銭の管理状況を確認し、必要な支援において協力を得ることができるか確認をする必要がある。

※記入欄が足りない場合は、様式を追加して記入

社団法人日本社会福祉士会 作成（出典：東京都老人総合研究所「支援計画書(第２版)」、新潟県三条市作成様式を参考に作成）

事例情報4

＜第１回　高齢者虐待対応ケース会議　計画書に基づいた支援＞

令和３年1月１６日１０：００、徳島さん経由で、広子の電話番号がわかり、ケアマネから広子に電話連絡。広子に電話で事情説明、支援依頼を行った。広子は、フジと月1回程度電話で話をし、元気そうな声はきいているが、１年位母親に会っておらず、詳しい生活状況などわからないとのこと。フジの受診同行、要介護認定申請について同意を得る。経済的な援助については、受診治療代位は代わりに支払えるが、あまり多くを支払うことはできないとの回答。受診同行については「兄が無理なら行く」とのことだった。

１月１６日１５：３０、島男との面談（包括社会福祉士、もみじ居宅ケアマネ）
民生委員から、地域包括支援センターに、島男が今帰宅したと電話あり、訪問。ケアマネが、「その後、どうしておられるかと思って訪問しました」と訪問の意図を伝える。島男からはお酒の臭いがした。

フジの身体状況や受診について聞くと、「随分前にあの病院は嫌だ、この病院も嫌だと文句ばかり言ったから好きにしろと言った」と面倒くさそうに答える。広子について聞くと、「俺がおるけぇ、寄り付かん」との返事。要介護認定申請と受診の必要性について説明し同意を得ようとするが、「考えとく」と答える。最終的には要介護認定の申請については承諾。受診については、「広子が行けばいい。」と答えた。物忘れについては、「歳じゃけぇ、話がなかなか通じんのはしょうがない。でも一日中、何回も同じことを言わせるけぇ、いつもイライラしとる。たまには手が出ることもある」と答えた。

フジの食事についてきくと、「昔からアンパンが好きじゃけぇ、冷蔵庫にいつも10個位入れとる。」との返事。島男自身の生活については言葉を濁し、「もうこのくらいでええか？」と家の中に入って行った。

１月１８日１７：３０、 ケアマネが、広子に電話で結果を報告すると、受診同行を了承し、日程調整していくこととなった。包括主任介護支援専門員は、毛利医院に介護保険申請の相談を行い、主治医意見書の作成について了承を得た。

１月２１日午後、フジの以前の主治医である毛利医院受診。広子、ケアマネ、包括保健師が同行。
高血圧、高脂血症の内服治療が再開。受診時に新しいあざは確認されていない。主治医より、認知症について専門医の清盛メンタルクリニックを紹介してもらう。内服管理の課題が残る。診察を待つ間、フジに生活状況をきくが答えられないことが多かった。フジは「先生に診てもろうて良かった。」と何度も言っていた。同日、ケアマネが要介護認定申請し、サービス利用について検討開始。

１月２２日　包括社会福祉士、ケアマネで自宅訪問し、島男と面談。要介護認定申請と、毛利医院の受診受診結果を報告し、広子が同席したことを伝えるが、特に反応なし。認知症専門医への受診の同行を依頼するが拒否。介護保険については「今は特に困ってないし、お金がかかることは困る。母親は、自分の事くらい自分でできるけぇ大丈夫じゃろう。」と言い、今後の生活への意向については「特にない。これから出かけるんで」と面倒くさそうにドアを閉めた。

１月２３日１０：００、清盛メンタルクリニック受診。広子、ケアマネ、包括保健師が同席。アルツハイマー型認知症の診断。内服管理で様子観察となる。今後は毛利医院で薬を出してもらうことになり、清盛メンタルクリニックは適宜受診をしていくことになった。

１５：００、市からの認定調査に広子が同席。(島男不在)

１８：００、民生委員から電話。「随分前からゴミの出し方が悪いと近隣から苦情が出ている。島男さんが全く聞く耳を持たなくて困っていると自治会長さんから今日きいた」と電話あり。地域による見守り、支援体制づくりが必要だと包括内で協議する。

事例情報5

<第１回　高齢者虐待対応ケース会議・支援計画に基づく評価会議>
　令和３年１月２５日１０：３０、健康推進課にて評価会議を開催。出席者は、健康推進課主幹、保健師、地域包括支援センター社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員。支援計画に基づき対応した実施状況と確認した事実などを共有する。

・フジの生活状況については、歩行が不安定で転倒の危険があること、身なりを自分で整えることができず、排泄の失敗あり、食事も与えられたものだけを食べる、住環境を自ら整えることは難しくなっている。島男に怒られたり、叩かれたりすることでパワレス状態に陥っていることが確認された。

・フジの判断能力については、アルツハイマー型認知症と診断され、その場その場のやり取りはおおむね理解できているものの、置かれた状況を理解したり、衣食住を整えることについてはかなりの支援が必要な状況であることが確認された。

・訪問による状況確認や周囲からの聞き取りの結果、緊急措置にて分離の必要なしとの判断。介護保険内でのショートステイ等の利用が妥当との皆の合意が得られた。

・本虐待ケースの発生要因は「フジの心身機能と判断能力の低下」、「島男がフジの心身機能や判断能力の低下、病気について理解していないこと」「離婚や失業、介護が重なったことで島男自身がパワレス状態に陥っていること」「島男の相談相手、介護への協力者がいないこと」であると分析した。

様式７　**演習用**

高齢者虐待対応評価会議記録票

計画評価：　2　回目　記入年月日　令和 3年 1月 25日

会議日時：　2021年（令和 3年 1月 25日10時30分～11時30分

会議目的	計画に基づいて行った支援内容の共有と計画見直しの必要性の判断を行う。	出席者	所属：健康推進課　名前　主幹、　保健師	所属：三葉地域包括支援センター名前社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員

課題番号	目標	実施状況（誰がどのように取り組んだのか）	目標達成状況（日付）（達成した目標の内容とその根拠＝確認した事実を記載）	対応方針の変更の有無、変更内容
高１	本人の身体状況を医学的に診断し、必要な医療につなげる。	☑ 包括主任介護支援専門員、保健師、もみじ居宅ケアマネで主治医や長女との連絡調整、受診を行った。	1/18, 長女の受診同行を調整し、1/21長女、包括保健師、もみじ居宅ケアマネと毛利医院を受診。高血圧、高脂血症の内服治療が再開できた。受診時に新たなあざは確認されなかった。主治医より認知症専門医清盛メンタルクリニックを紹介してもらい、1/23受診ができ、アルツハイマー型認知症との診断。内服薬処方されたが、<u>服薬管理について課題あり。</u>	■目標達成 □目標変更なし ■目標変更あり （服薬管理に課題あり）
高２	必要な介護保険サービスが利用できるようになる。	☑ 包括主任介護支援専門員、社会福祉士、もみじ居宅ケアマネで要介護認定の申請ができるように調整した。	1/21にケアマネが毛利医師を主治医に要介護認定の申請及び暫定でのサービス利用調整を開始したが、<u>養護者はサービス利用に拒否があり、具体的な話にまで進まなかった。</u>	■目標達成 □目標変更なし ■目標変更あり （サービス利用拒否あり）
養１	訪問を継続し、意向や生活、経済状況を確認する	☑ 包括社会福祉士、もみじ居宅ケアマネで自宅訪問し、養護者と面談を行った。	1/16、自宅訪問し面会。昼間だったが飲酒していることを確認した<u>「一日中何回も同じことを言わせるけぇいつもイライラしとる。たまには手がでることもある」</u>食事については<u>「アンパンが好きじゃけぇ、冷蔵庫にいつも１０個位入れとる」と食生活についても課題</u>があることが確認できた。 1/22、介護保険申請と毛利医院受診を報告。認知症専門医への受診同行を依頼するが拒否。介護保険の話をするが<u>「今は困っていないし、お金がかかることは困る。母親は自分のことくらい自分でできるけぇ大丈夫じゃろう」</u>と答える。今後の生活についての意向を聞くが「特にない」と答えた。	■目標達成 □目標変更なし ■目標変更あり （食生活、介護負担、認知症や介護の必要性について理解を促す）
他１	養護者と長女の関係を把握し、協力が得られる関係づくりを支援する。	☑ 徳島さん経由で長女の連絡先が分かり、ケアマネから長女に連絡した。	1/16, ケアマネから事情説明、支援依頼を行った。電話で月1回程度話はするが<u>1年以上会っていないことがわかった。受診同行や介護保険申請についての同意を得、経済的支援についても少額なら可能</u>との確認が取れた。	■目標達成 □目標変更なし ■目標変更あり （長女の支援を具体化する）

支援を要する状況	虐待種別	判定		高齢者本人の状況（意見・希望）	養護者の状況（意見・希望）
	１．身体的虐待		１．虐待が発生している		
	２．放棄・放任		２．虐待の疑いがある		
	３．心理的虐待		３．一時的に解消（再発の可能性が残る）		
	４．性的虐待		４．虐待は解消した		
	５．経済的虐待		５．虐待は確認されていない		
	６．その他				養護者支援の必要性　□あり　□なし

新たな支援計画の必要性	評価結果のまとめ（令和 2年 1月 25日現在の状況）	今後の対応
	１．虐待対応の終結 →	１．虐待対応支援の終結
	２．現在の虐待対応計画内容に基づき，対応の継続 →	２．包括的・継続的ケアマネジメント支援に移行
	３．アセスメント，虐待対応計画の見直し →	３．その他（
	４．その他（　　　　　　　　　）	

ワーク9

福山市高齢者支援課 作成（出典：社団法人日本社会福祉士会　作成様式を参考に作成）

事例情報6

＜第２回　高齢者虐待対応ケース会議＞

令和３年１月２５日１４：００、関係者を招集し、虐待対応ケース会議を開催。出席者は、健康推進課主幹、保健師、地域包括支援センター社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員、もみじ居宅ケアマネ、通所介護事業所（相談員）、短期入所生活介護事業所（相談員）、民生委員。生活状況について情報共有し、引き続き島男との在宅生活の可能性と環境整備について検討すること、介護保険のサービスを開始の方向で調整すること、成年後見制度利用の可能性について検討していくことを確認した。

また、広子の意向を確認しながら連携を図り、島男への支援と意向確認を行っていくこととした。支援期間を長めに設定し、次回評価会議は３月５日１３：３０に開催予定。

参考２（表）

高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書（１）

計画作成日　令和 3年　1月　25日

初回計画作成日　令和 3年　1月　15日

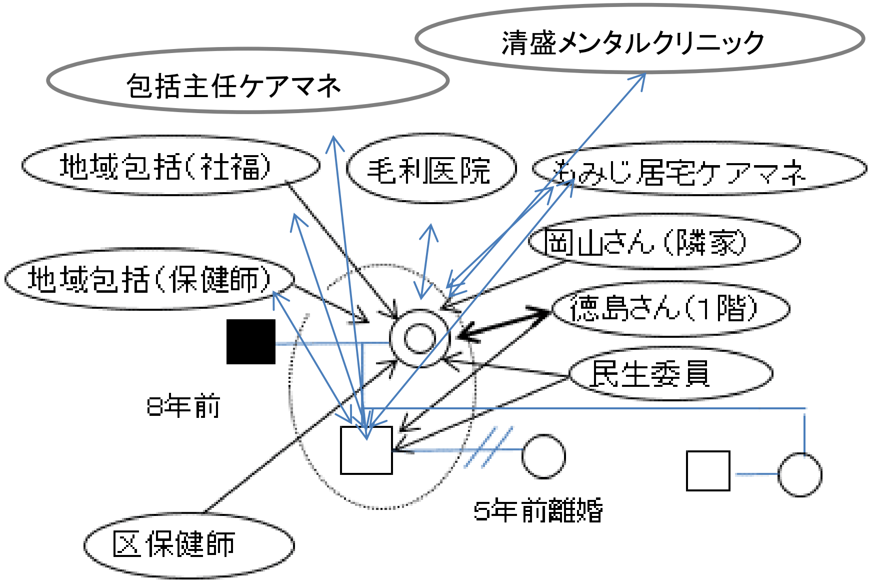
高齢者本人氏名　瀬戸内　フジ　殿

計画作成者所属　三葉地域包括支援センター

計画作成者氏名　社会福祉士

計画作成段階	見直し（○）　措置解除　虐待終結
計画の作成回数	3_回目

会議日時：　令和 3年　1月　25日　14時00分～15時00分

会議目的	対応状況の確認と支援計画の見直し	出席者	所属：健康推進課　主幹、保健師 所属：三葉地域包括支援センター 保健師、社会福祉士、主任ケアマネ 所属：民生委員 所属：もみじ居宅介護支援事業所 所属：通所介護、短期入所生活介護、訪問看護
高齢者本人の意見・希望	受診に待ち時間に、本人に生活状況を聞くが答えられないことが多かったが「、先生に診てもらってよかった」と何度も言った。	支援機関・関連機関等連携マップ	※アセスメント要約票D票のⅢ、Ⅳを集約する 
養護者の意見・希望	1/22の聞き取りでは、「今は特に困ってないし、お金がかかることは困る。母親は自分の事くらい自分でできるけぇ大丈夫じゃろう」との発言あり。今後の生活についての意向を聞くと「特にない」と答えた。 ※支援の必要性　■あり　□なし　□不明		
総合的な支援の方針 ※アセスメント要約票D票〔全体のまとめ〕より	①本人に必要なケアを明らかにし、必要なサービスの利用につなげる。 ②養護者に認知症や介護の必要性を理解できるようにアプローチをし、介護保険サービスが利用できるようにする。 ③養護者が信頼して話ができる人をつくれるよう支援する。 ④本人の年金の管理、使用状況を把握し、適切な金銭管理が行えるようにする。		

社団法人日本社会福祉士会　作成（出典：東京都老人総合研究所「支援計画書(第２版)」を参考に作成）

参考２（裏）

高齢者虐待対応ケース会議記録・計画書（２）

対象	優先順位	課題	目標	具体的な役割分担		
				何を・どのように	支援機関・担当者等	実施日時・期間／評価日
高齢者	1	本人はアルツハイマー型認知症により衣食住、生活全般に介護が必要な状況である。	本人に必要なケアを明らかにし、必要なサービスの利用につなげる。	適切なケアマネジメントが行われ、サービスの利用ができる。ケアマネジャーの支援を行う。	包括主任介護支援専門員	令和3年3月5日までに／
	2	本人の年金がどのように管理されているか、生活費の使用状況が分からない。	本人の年金の管理、使用状況を把握し、適切な金銭管理が行えるようにする。	養護者に本人の金銭管理についての話ができるようになる。介護保険のサービスの利用にあたり、養護者の収入、支出状況を確認する。確認をする際に利用料の負担軽減の方法について説明し、対応策を養護者と一緒に考える姿勢で関わる。	包括社会福祉士 もみじ居宅ケアマネ	令和3年3月5日までに／
養護者	3	養護者が本人の状況についての理解ができておらず、介護の知識や技術が乏しい。	養護者に認知症や介護の必要性を理解できるようにアプローチをし、介護保険のサービスが利用できるようにする。	養護者に、本人ができていることとできていないことを確認する。介護で困っていること、イライラすることについて確認し、サービス利用を通して養護者の気持ちや介護の変化を確認する。	包括社会福祉士 市保健師	令和3年3月5日までに／
	4	相談できる相手がおらず孤立している。	養護者が信頼して話ができる人を作れるように支援する。	長女が協力できることや意向を確認し、養護者に伝える。養護者と長女が話し合う場面を設定する。地域住民や関係機関の職員と話ができる機会を作っていく。民生委員、近隣に見守りやゴミ出しの事で関わってもらい、本人や養護者とのつながりを強める。	包括社会福祉士 市保健師 もみじ居宅ケアマネ	令和3年3月5日までに／
その他の家族						
関係者						

進捗状況報告（　月　日，　月　日，　月　日　）□支援終了日　年　月　日	計画評価予定日　令和 3年　3月　5日

対応が困難な課題／今後検討しなければならない事項など（虐待終結に向けた課題等を記載）

金銭管理について家族間で話しあいによる合意が得られなかった際は、成年後見制度の申し立てを進める。
養護者は長女や関係機関の関わり、サービス利用を受け入れてきている。今後は本人のニーズを長女の支援や介護保険のサービスで解決するだけではなく、養護者が本人の介護に前向きになり適切な介護が行えることで虐待の解消を目指す。

※記入欄が足りない場合は、様式を追加して記入

社団法人日本社会福祉士会 作成（出典：東京都老人総合研究所「支援計画書（第２版）」、新潟県三条市作成様式を参考に作成）

事例情報7

＜第２回　高齢者虐待対応ケース会議・支援計画に基づく対応＞
　令和３年１月２９日、ショートステイ（１／２６～２／２予定）中のフジを、包括主任介護支援専門員、もみじ居宅ケアマネが訪問しフジに面談。施設の相談員からは、食事、水分ともしっかり摂取でき、入浴も問題なくできたこと、歩行が安定してきたことなどを聞き取った。デイサービスの管理栄養士が、栄養状態の改善に継続的に関わっていくことが決まった。
　２月３日、ショートステイ終了後、ケアマネが広子に電話し、状況及び意思確認を行った結果、ショートステイの継続利用、デイサービス利用開始の意向を確認した。
同日、自宅にて島男、フジと面談。市保健師と包括社会福祉士が、島男から以下の意向について確認した。
・自分としては気乗りしないまま行かせたが、フジが嫌じゃないならまた泊まりに行ってもいい。フジのお金を今まで自分が飲むお酒やパチンコに使い込んできた事は事実。これからは介護サービスに月1万5千円位なら使えるようにする。店を売ったお金が後２００万残っているが、収入がないのですぐに底をつく。働かないといけないとは思っている。
・これまでついカッとなって手が出てしまうことがよくあったが、ショート中、久々にゆっくり過ごせた。
　一人の時間を持ってみて色々考える中で、フジは認知症という病気なんだということがわかってきた。
・施設にはまだ入れたくない。自分がみてやらないといけないと思う。
・酒を飲むとイライラが和らぐので一気にやめられないが、ショートに入った位からかなり減らしている。
・地域で行われている「小地域福祉ネットワーク」への登録、「認知症カフェ」や「いきいき１００歳体操」「ふれあいサロン」への参加は、フジが行きたいなら行ったらいいと思うが、島男が連れて行くのは無理。

　２月１０日、要介護認定の結果通知（要介護２）が届く。ケアマネ、包括主任介護支援専門員でフジ宅訪問し、今後について話しあう。デイサービスはすでに暫定で２月６日から週２回行っており継続、ショートステイを時々使うことに島男が同意。その他、今日の訪問で服薬がきちんとできていない様子を確認。毛利医院に相談し、かかりつけ薬局（たいら薬局）に居宅療養管理指導で関わってもらえるように調整していくこととなった。島男からは「妹が母親のことをよく看に来てくれるようになったし、今、仕事を探しよる。」との話あり。「施設入所のことは将来的には考えたいとも話す。
　２月１２日、民生委員が島男、フジを訪問。今後、日中一人になることを想定して福祉を高める会の会長に相談の結果、小地域福祉ネットワークでの見守りが可能となったため、登録手続きをおこなう。見守り協力員には、同じ階に住む香川さんが選任された。ゴミ出しについては、社協が中心となって取り組んでいる「お互いさま活動（生活支援活動）」として、徳島さんが朝、フジに声掛けをし、一緒にゴミステーションまで捨てに行く関わりをしていくことになった。また、包括保健師が地域との調整を行い、デイサービス以外の日は、民生委員が「認知症カフェ」に週１回、徳島さんが「いきいき１００歳体操」と「ふれあいサロン」に週１回ずつ、声掛けして一緒にいく支援を地域住民で行っていくことになった。

　２月１６日、市保健師、包括主任介護支援専門員が広子と健康推進課会議室で面接実施。広子から以下の意向を確認した。
・週１回は、フジの所に行って体調確認や通院支援、用事や家の片づけ、洗濯をしていく。フジが一人の時の食事についてまとめ買いをしていく。
・体調、服薬管理については、かかりつけ薬局に関わってもらいたい。費用は当面、広子が負担する。
・フジの年金を兄が使い込んでいたことがわかったので、年金管理は、島男と話をしてしばらくは広子がする。成年後見制度の利用について今は良くわからないので、これから少しずつ考えていきたい。
・フジは家にいたいと言っているので、島男と相談しながら頑張れるところまで今の家で生活させたい。

話の最後に、「母は元気だろうとばかり思い込んでいて、兄にずっと任せきりで悪かったと思う。兄は、昔から人付き合いが下手で、人の言うことに耳を貸さない。いつも自分の我を通すので、私が何を言っても聞かない。だから段々と、母のもとに足を運ばなくなってしまったんです。でも、母は、子供たちに優しい母でした。私もできることをして恩返ししないと…」と涙ぐんで話した。

２月２３日１１：００、島男、フジを訪問（市保健師、包括社会福祉士）。家の中は、以前に比べ整っていた。デイサービスを開始し３週間が経過。薬剤師による居宅療養管理指導が２０日に初回支援に入った。
「近くに開店した回転寿司屋に正社員の求人があって、１０日前から試用期間で行き始め、夜遅くなる日が多くなった。広子はよう来るようになったけど、母親の世話はやっぱり大変。パットをしても漏らすし、薬を忘れんように飲ますのも一苦労よ。」と話す。「よくおひとりでこれまで頑張ってこられましたね。」と声をかけると少し笑顔を見せ、「しょうがないじゃろ・・・俺しかみるもんはおらんかったんじゃけぇ」と答える。これからも引き続き一緒に考えていくことをお伝えする。訪問の間、フジは機嫌がよく、「みんなようしてくれる。やっぱり家がええの」と何度も繰り返す。訪問後、徳島さんを訪問。最近は大きな声や音を聞かなくなったと話す。隣の岡山さんも最近は静かだと昨日会った時に言っていたと話す。島男が休みの日には、地域住民に出会うと島男の方から挨拶してくれることも出てきた。島男の就職で、フジは一人になる時間が増えたので、デイサービス以外の日の昼食は配食サービスを利用。夕食は、広子がまとめて準備したものを隣の岡山さんが温め、配膳する支援をしてくれることになった。

同日１６：３０、包括主任介護支援専門員が、ケアマネより聞き取り。デイサービス相談員によると、フジは毎回の入浴により保清がかなり保たれるようになった。新たなあざは見られない。失禁への対応として尿取りパットの使用を家族に勧め、使い方を指導し、デイサービスと自宅両方で使うことができるようになってきている。食事、水分がこれまでより摂れるようになり、唇の渇き等が改善し、歩行時のふらつきも小さくなった。デイサービススタッフと島男は、フジの様子について情報交換ができるようになってきた。

３月３日、１４：３０、包括保健師が地域を回り、民生委員、徳島さん、岡山さん、香川さんから「認知症カフェ」や「いきいき１００歳体操」「ふれあいサロン」に継続して参加できていること、小地域福祉ネットワークでの見守りや、お互いさま活動（生活支援活動）でのゴミ捨て、食事の支援など円滑に日々の生活が送れている事が確認できた。広子が週１回以上来るようになり、食事以外でも掃除や洗濯について支援している。兄弟間で話をする機会が以前より増え、島男は正社員となり、毎日仕事に行くことができている。

＜第２回　高齢者虐待対応ケース会議・支援計画に基づく評価会議＞
３月５日１３：３０、健康推進課会議室にて評価会議を開催。
出席者は、健康推進課　主幹、保健師、包括支援センター　社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員の５名。目標の達成状況、支援を要する状況の確認、評価結果のまとめ等について協議した。

＜コアメンバー会議＞
３月５日１４：３０～１５：３０、健康推進課会議室にて引き続きコアメンバー会議開催。
出席者は、健康推進課　課長、主幹、保健師、地域包括支援センター　社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員の計６名。評価会議の内容を踏まえてコアメンバー会議を開催した。

様式７　**演習用**

高齢者虐待対応評価会議記録票

計画評価：　3　回目　　記入年月日　令和3年 3月 5日

会議日時：　2021年（令和3年 3月 5日 13時30分～14時30分

会議目的	終結の判断と今後の対応を検討する。	出席者	所属：健康推進課　課長、主幹、保健師	所属：三葉地域包括支援センター名前社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員

課題番号	目標	実施状況（誰がどのように取り組んだのか）	目標達成状況（日付）（達成した目標の内容とその根拠＝確認した事実を記載）	対応方針の変更の有無、変更内容
高１	本人に必要なケアを明らかにし、必要なサービスの利用につなげる。	☑ 包括主任介護支援専門員とケアマネが連携しショートステイ、訪問看護、デイサービスを調整し利用する中で必要なケアが受けられるようにした。		□目標達成 □目標変更なし □目標変更あり（　　　）
高２	本人の年金の管理、使用状況を把握し、適切な金銭管理が行えるようにする。	☑ 包括社会福祉士とケアマネが養護者に本人の金銭管理について話をした。介護保険のサービス利用にあたり本人、養護者の収入、支出状況を確認。利用料の負担軽減について対応策を一緒に考える姿勢で関わった。		□目標達成 □目標変更なし □目標変更あり（　　　）
養１	養護者に認知症や介護の必要性を理解できるようにアプローチをし、介護保険のサービスが利用できるようにする。	☑ 包括社会福祉士、市保健師が養護者に、本人ができていること、いないことを確認する。介護で困っていること、イライラすることについて確認し、サービス利用を通して養護者の気持ちや介護の変化を確認した。		□目標達成 □目標変更なし □目標変更あり（　　　）
養２	養護者が信頼して話ができる人を作れるように支援する。	☑ 包括社会福祉士とケアマネ、市保健師が、長女へ協力できることや意向を確認し養護者に伝えた。養護者と長女が話し合う機会が持てるようにした。民生委員がフジ宅を訪問し、地域とのかかわりが持てるように支援した。 包括社会福祉士、市保健師も一緒に地域とのつながりができるように声かけを行った。		□目標達成 □目標変更なし □目標変更あり（　　　）

支援を要する状況	虐待種別	判定		高齢者本人の状況（意見・希望）	養護者の状況（意見・希望）
	１．身体的虐待		１．虐待が発生している		
	２．放棄・放任		２．虐待の疑いがある		
	３．心理的虐待		３.一時的に解消（再発の可能性が残る）		
	４．性的虐待		４.虐待解消した		
	５．経済的虐待		５.虐待は確認されていない		
	６．その他				養護者支援の必要性　□あり　□なし

新たな支援計画の必要性	評価結果のまとめ（令和2年 3月 5日現在の状況）	今後の対応
	１．虐待対応の終結 →	１.虐待対応支援の終結
	２．現在の虐待対応計画内容に基づき，対応の継続 →	２.包括的・継続的ケアマネジメント支援に移行
	３．アセスメント，虐待対応計画の見直し →	３.その他（
	４．その他（　　　　　　　　）	

ワーク１０

福山市高齢者支援課 作成（出典：社団法人日本社会福祉士会　作成様式を参考に作成）